



# 徳島大学概要 2023

Outline of  
Tokushima University 2023

## 目次

学長からのメッセージ	
理念、VISION、中期目標・中期計画	1
TOPIC	2
機構図	4
学部	6
大学院	7
教養教育院	8
研究所、センター	9
寄附講座、共同研究講座、協働研究所	14
基礎データ、歴代学長、沿革	15
役職員	16
学生数	18
入学者状況	20
学年暦、学位授与数、進学・就職状況	21
財政	22
徳島大学発ベンチャー	24
国際交流	25
職員数、厚生補導施設・体育施設等	28
所在地一覧	29
土地・建物、位置図・交通	30
建物配置図	31
徳島大学基金、徳島大学びざん会 徳島大学マスコットキャラクター	32
徳島大学の歌	33

## 学長からのメッセージ



徳島大学長 河村 保彦

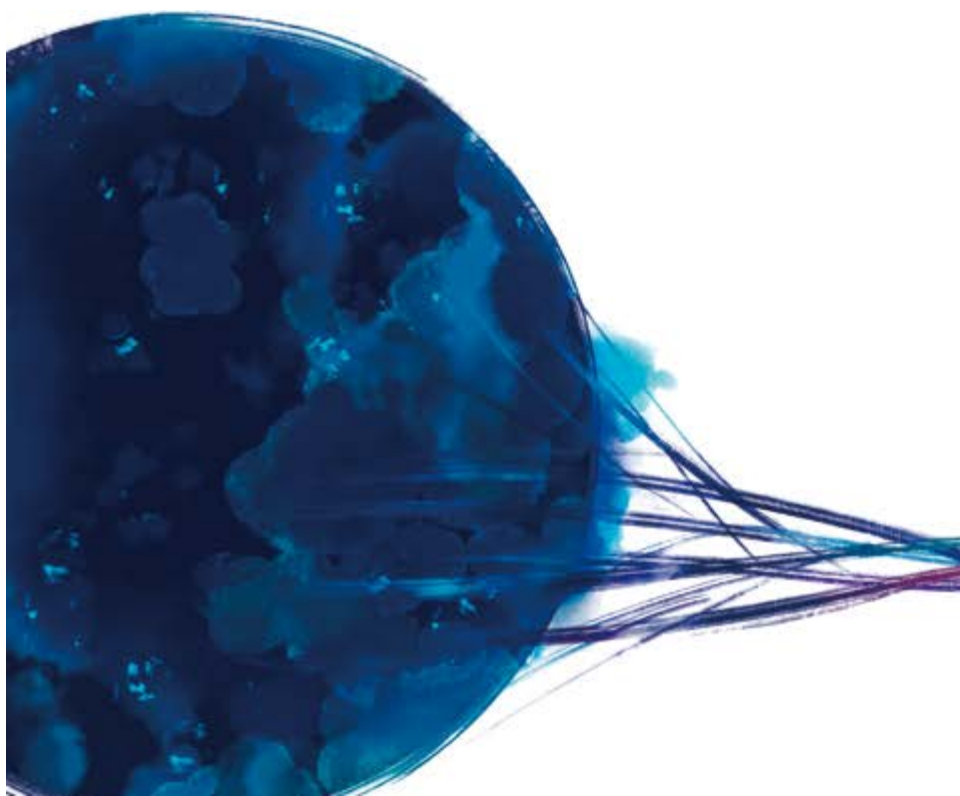
### 深く輝く、未来を紡ぐ大学へ

世界はかつてない速度で変貌を続けており、超スマート社会 Society5.0 への期待が高まる一方で、少子高齢化の加速、自然環境の悪化や感染症の拡大など、多くの不安が未来に影を落としています。このような複雑で高度な課題の解決に必要な人材を育成し、徳島県に位置する高等教育機関としてのあるべき姿を展望するため、「INDIGO 宣言」を策定しました。これは、徳島大学が育成する人物像や目指す方向性を、学内外に向けて示したものであり、徳島大学の学生や教職員が進むべき路を選択するとき、徳島大学がどこに向かうかを問われたとき、「INDIGO 宣言」がその指針となります。

かつて阿波の藍(INDIGO)は、品質向上への誠実な取り組みにより日本全国を席卷し、徳島(阿波)は、全国有数の都市を有する地域として繁栄しました。深く輝く藍色は世界の人々に「ジャパンプルー」と称され、我が国を代表する色として愛されてきました。加えて、防虫性、耐候性、薬効など、藍は多様な機能で人々の生活を豊かにし、社会の発展に貢献してきました。

そんな藍の染色では、さまざまな物質が共生する藍甕(あいがめ)に生地を浸けてから外気にさらす工程を繰り返すことで、鮮やかな藍色があらわれます。これは徳島大学が目指す人材育成そのものです。多様なヒト、モノ、コトが行き交う中で学内外との交流を繰り返して人材が成長し、幅広い能力で社会に貢献する。本学はそのような学びの場でありたいと願います。

このような思いを込めた「INDIGO 宣言」ですが、社会を取り巻く状況は時々刻々と変わり、より高次の夢が生まれる時代も来るはずです。その際は、臨機応変に宣言内容を再構築するべく、皆さまの建設的かつ徳島大学愛あふれるご意見を賜りますようお願い申し上げます。



# 理念 VISION 中期目標・中期計画

**理念** 国立大学法人徳島大学は、自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し向上させ、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。



## INDIGO 宣言

未来社会を照らす誠実で高潔な人格、地球規模の課題に立ち向かう斬新な発想と力強さ、この両者を身につけるための教育研究の場を提供し、社会の要請に応え続けます。

そして再び、ノーベル賞受賞者を輩出したいと願います。

性別、年齢、国籍、価値観などの多様性を前提に、誰も取り残すことなく受け入れて、学生や教職員の地力を最大限引き出せる大学運営を行います。

「地球視点で考え、徳島発で行動する」大学として世界との交流を進め、教育研究に関する成果や課題を学内外と共有することで知の融合反応を促進し、「深く輝く、未来を紡ぐ大学」を目指します。

### 徳島大学のあるべき姿を象徴するキーワード

Integrity(誠実さ)

Noble and Novel(高潔さと斬新さ)

Dynamism and Diversity(活力と多様性)

Inclusive(寛容)

Global(世界へ発信)

Open(開かれた徳島大学)

## 徳島大学 VISION INDIGO 宣言に基づく 5つの骨子

[教育] 進取の気風の醸成と未来を切り拓く人材育成

[研究] イノベーションを創出するプラットフォームの構築

[社会との共創] 地域の中核となり、世界の課題を解決する社会連携の推進

[医療] 高度、先進、全人的医療の提供と人間愛に溢れた医療人育成

[組織運営] 魅力と活力ある経営体としての大学へ



**中期目標・中期計画** 令和4年度からの6年間は、平成16年度の国立大学法人化以降、第4期目となる中期目標期間となっており、中期目標・中期計画は、本学の強み・特色を生かして果たす役割や機能をミッションとして位置付けて、その達成のために全学を挙げて取り組む戦略的な取組及びそのための機能拡張の方向性等を公に示すものです。

この目標を達成し、地域から世界の課題(SDGs)を解決する大学としてさらに飛躍するために、日々の教育・研究・社会貢献・診療等の活動に全学一体となって取り組んでまいります。



新しい価値を創り出せる人材の育成

## 「医光／医工融合プログラム」

文部科学省「令和5年度 魅力ある地方大学の実現に資する地方大学の定員増」に対し、「次世代ひかりトクシマ若者雇用創出計画～『医光／医工融合人材』が切り拓く新たな地方創生～」として『医光／医工融合プログラム』を申請した結果、2022年6月に文部科学省より選定されました。

「医光／医工融合プログラム」は理工学部と医学部及び関連研究所による学部等横断型の特別プログラムで、「光工学、医学的な知見と AI・ビッグデータ活用に必要な知見を併せ持ち、起業や産業界の研究・企画部門等で活躍するイノベティブな人材」を養成し、地方創生に資する人材を輩出することを目的として2023年4月理工学部理工学科に定員30名で設置しました。

1年生から本学が誇るトップレベル研究者が手厚くメンター（助言、指導、精神的なサポートをする人）として対応し、メンター指導のもと世界レベルの研究に触れる学びの環境を構築します。具体的には、本プログラムの大きな特色である医光学ニーズの探索・コンセプト創出・実践／実証を通した統合的体験型教育を推進するため、1年生から研究室配属を行い、自ら課題を設定、解決法を探る体験型実践教育を行います。4年間を通した体験型実践教育により、学

MPE 徳島大学理工学部理工学科  
医光／医工融合プログラム  
Transdisciplinary Program for Medicine, Photonics, and Engineering



生は世界水準の研究に触れ、グローバルイズム、異分野の学びによる多様な視点を習得するとともに、実践に基づいて学生が主体的に学習・探求する能力を身につけるための教育を行います。



「徳島大学の強み」を明確化

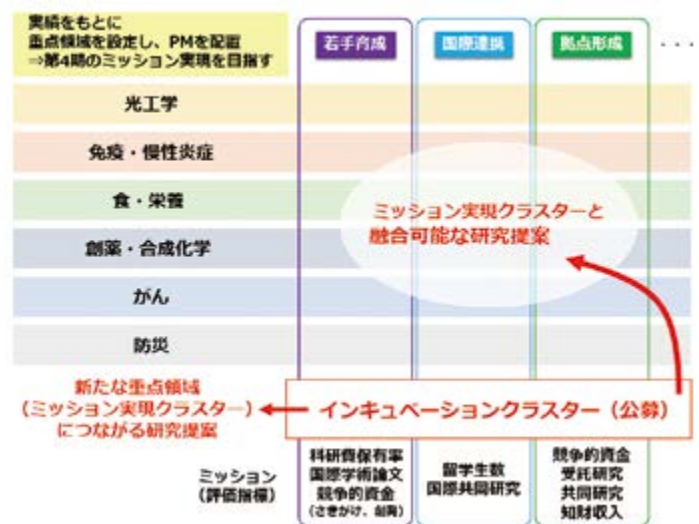
## 研究クラスター

分野を超えた複数の研究者からなる研究集団（研究クラスター）を組織し、研究費を効果的に配分するとともに、本学の理念実現に貢献できる研究を選定・支援する体制を2017年度から構築しています。

第4期中期目標期間からは、本制度に研究戦略の目標として、「大学間連携」、「産官学連携」、「国際連携」、「若手育成」、「研究拠点形成」を掲げ、各項目を達成するため本学の強みとして実績のある「光工学」、「免疫・慢性炎症」、「食・栄養」、「創薬・合成化学」、「がん」、「防災」を重点研究領域として設定しました。この領域を取りまとめる PM（プログラムマネージャー）を任命したミッション実現クラスターを設置するとともに、ミッション実現クラスターと融合し、社会実装や基礎研究の更なる推進を目指す研究課題や新たな重点研究領域の創成につながる萌芽的・独創的な研究課題をインキュベーションクラスターとして設置し、重点的かつ戦略的に支援することで、効果的で社会的なインパクトの創出を目指したいと考えています。

また、これまでの研究クラスターへの支援が、「地方大学・地域産業創生交付金」事業「展開枠」等の重点的的事业への採択や大学発ベンチャーの創出などの成果につながっています。

徳島大学  
研究クラスター



※2023年度から、将来の徳島地域における大規模災害を想定し、社会的なニーズも非常に高く、本学の特徴となり得る「防災」を重点研究領域として新たに設定するとともに、当該領域に2022年度インキュベーションクラスターとして採択した「防災クラスター」を新たなミッション実現クラスターとして設置しました。



2015 年度に採択された「地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+)」(2015～2019) において、実践力養成型インターンシップなどの先進的な取組を行い、中間評価、事後評価ともに最高評価の「S 評価」を得ました。

この活動を基礎として、徳島大学は 2020 年度、徳島県と強く連携し、県内の高等教育機関(四国大学、四国大学短期大学部、徳島文理大学、徳島工業短期大学、阿南工業高等専門学校)を参加校として、COC+ 事業に続く事業「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業 (COC+R)」に「とくしま創生人材・企業共創プログラム」を共同申請し、採択をいただきました。

このプログラムは、徳島県内で将来性、発展性、先進性の特徴を有する企業や、経済団体、県内高等教育機関等で構成する「コンソーシアムとくしま」を協議の場と位置づけ、地域を担う質の高い人材を育成し、県内企業等の魅力・経営向上と人材定着促進という好循環創出を目指す教育プログラムの開発を目的とするもので、業種横断的に活躍できる汎用的能力を身につける「情報処理」、「マネジメント」、「デザイン・コミュニケーション」の基礎力育成科目とライフデザイン科目、企業等の経営理念を伝える対話型授業と短期訪問実習「エクスターンシップ」、企業と学生が企業の課題解決に共に取り組む「実践型インターンシップ」、県内高等教育機関による「参加校

共同授業」等の先進的な内容で構成されています。

また、学習履歴を認証し、就職活動時のアドバンテージとなる「地域クリエイターズ・マイレージポイント制度の導入」、参加校学生やリカレント生の履修のための「遠隔参加型システムの開発」、NTT 西日本(株)と連携して進める、AI 分析を活用した地域企業と学生とのマッチングシステム「キャリアサポートシステムの開発」など、目的達成に向けた様々な事業に取り組んでいます。



## 徳島大学・地域の国際化の推進 外国人留学生対象の日本語・日本文化教育



本学は「幅広い視野と国際感覚を備えた、世界の人々と協働できる実践的人材を育成し、それぞれの地域や国々と積極的に国際交流を推進し、世界とともに発展し続ける国際社会の実現に寄与する」ことを基本理念として国際化を推進しており、2023 年 5 月 1 日現在、32 ヶ国、89 大学と国際交流協定を締結しています。

この理念を実現するため、教育面では世界の人々と円滑なコミュニケーションを図るのに必要な語学力、異文化・他者理解力の向上及びグローバルなアイデンティティの確立を目指した教育の推進を挙げています。この方略として、2023 年 6 月 16 日に閣議決定された教育振興基本計画にも示されている、日本人学生の海外留学の推進や外国人留学生の受け入れの推進を図るために、多様な価値観や文化を学ぶ機会を提供できる留学プログラムの開発や優秀な外国人留学生の確保及び本学で学ぶ留学生に対するサポートを行っています。

本学では大使館推薦の文部科学省国費外国人留学生や本学で学ぶ外国人留学生を対象とした 6 ヶ月間の日本語研修コース(約 280 時間)を開講しています。このコースは外国人留学生が日本語を使って大学内外で日常生活ができるようになること、徳島での生活や学修基盤を整えることを目標としています。フィールドトリップや本学学生及び地域の方々との交流活動を通して、言語とともに日本文化を学ぶカリキュラムを実施しています。加えて、「総合日本語プログラム」(週 2 回

3 時間)を開講し、学習や研究に忙しい学生の語学学習面でのサポートも行っています。総合日本語は 2 つのキャンパスで基礎から上級クラスまで開講しており、留学生は自分のレベルに合ったクラスで日本語学習ができます。

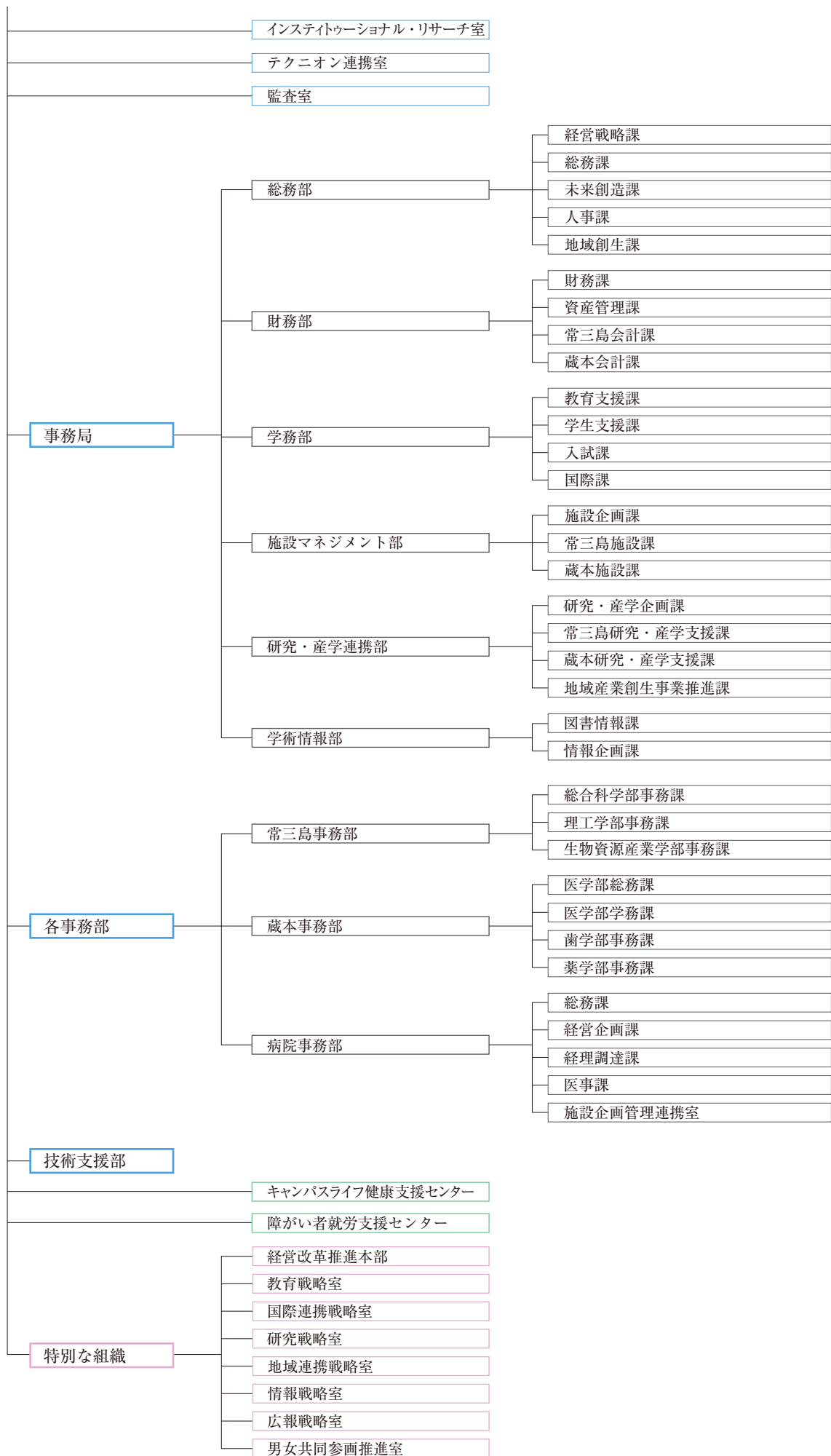
国策として 2033 年までに外国人留学生の受入れ 40 万人が掲げられており、今後、本学で学ぶ外国人留学生がますます増えることが予想されることから、日本語・日本文化教育をより一層充実させていきます。

同時に、外国人留学生との交流活動等を通して、日本人学生のグローバル化も進めていきます。海外に留学する学生を対象とした英語プログラム(グローバルパーソン集中プログラムや英語フリーチャット等)も実施していますので、詳しくはインターナショナルオフィスのホームページをご覧ください。



# 機構図





# 学部

## 総合科学部



### グローバルな視野を身に付け、地域の課題解決に挑む

総合科学部は「国際教養」「心身健康」「公共政策」「地域創生」の4コースで構成されています（2024年度より「国際教養」「心身健康」「地域デザイン」の3コースになります）。グローバル化が進む現代社会は様々な課題を抱え、その解決に向けた社会的取組が強く求められています。総合科学部では人文、人間、社会、地域及び情報等の諸科学における専門知識や専門技能を身につけるとともに、専門分野の融合を図ることでグローバル化する現代社会の諸問題や地域課題を的確に理解し、問題解決に対応し得る実践的な人材の育成を目的とし、人類の福祉と文化の向上に貢献することを目指しています。

URL:<https://www.ias.tokushima-u.ac.jp/>



## 医学部



### 全人的医療の推進に必要な医学、栄養学、看護・保健学全ての領域を揃える

医療・栄養・福祉に係る教育・研究・診療を通じて社会に貢献できる人材育成を目的としており、(1)医学部は、基本的な臨床能力及び基礎的な医学研究能力を備え、生涯にわたり医療、教育、保健・福祉活動を通じて社会に貢献し、医学の発展に寄与することができる人材の育成を、(2)医科栄養学科は、「食律生命」の理念のもとに、医学を基盤とした医科栄養学研究を進展させるとともに、医科栄養学を通じて高度化する医療と健康の維持増進に資することができる人材の育成を、(3)保健学科は、人間性、科学性及び国際性を基盤に高度化・専門化する医療を支え、保健・医療・福祉において多様化するニーズに対応し、保健学の発展に寄与することができる人材の育成を、それぞれ目指しています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/med/>



## 歯学部



### 口腔と全身の健康を追求し、健康長寿に寄与する

口腔と全身の健康に係る教育、研究、診療を通じて、社会に貢献できる人材の育成を目的としており、(1)歯学部は、歯科領域にとどまらない広い知識と最新の治療技術を身につけるとともに、医療人として必要な倫理を備えた歯科医師の育成を、(2)口腔保健学科は、口腔保健及び福祉の専門的立場から健康長寿の推進に貢献し、専門分野の教育、研究及び臨床における指導的役割を担う人材の育成を、それぞれ目指しています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/dent/>



## 薬学部



### 薬を通じて、世界をめざす

薬学部は、2021年度の入学生からは創製薬科学科で培ってきた研究指向の教育内容を薬学科と発展的に融合した薬学科（一学科）に再編されました。薬学部では薬の専門家としての知的・技術的基盤形成に必要な教育と深く医療に関わる使命感と倫理観を持たせる教育を行い、薬学が関連する諸分野の連携を基盤に自らの活躍の場を積極的に開拓できる能力に溢れた人材「インタラクティブYAKUGAKUJIN」の育成を目指しています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/ph/>



## 理工学部



### 工学のセンスをもった理学者、理学のセンスを持った工学者の養成

理工学部は、2016年4月に総合科学部理系（総合理数学科及び社会創生学科環境共生コースの一部）と工学部（生物工学科を除く各学科及び工学基礎教育センター）が協力・融合して発足しました。本学部は自立した一人の人間として社会の中で力強く生きる力（知力、社会・対人関係力、自己制御力）及び社会や世界の諸問題に対する鋭敏な知覚力を有し、高い倫理観をもって自ら考え、行動し、複数の理学と工学専門分野の知識を組み合わせつつ、独自のアイデアにより新しいものを創り出して問題の解決に取り組み、その成果を社会に還元できる能力を修得させることを目的としています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/st/>



## 生物資源産業学部



### ヘルス・フード・アグリとバイオの融合で創る未来

生物資源産業学部は、生物の優れた機能とそれを支える構造を科学的に解明し、それらの成果を生物資源の生産・応用に活用し、新しい産業を創出する総合的学問・技術体系を学ぶため、2016年4月に新たに設置されました。生物資源産業学部では、1次産業、食料、生命科学に関する幅広い知識と、生物資源の製品化、産業化に応用できる知識と技術を有し、国際的視野に立って、生物資源を活用した新たな産業の創出に貢献できる人材を育成します。

URL:<https://www.bb.tokushima-u.ac.jp/>





# 大学院

## 創成科学研究科



人文・社会・人間科学、理学、工学、生物資源学を融合した新たな教育体制・教育課程の構築により、中長期的な産業界・社会のニーズを踏まえつつ、グローバルかつ複合的な視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値（イノベーション）を創成できる高度専門職業人を養成することを目的としています。

URL:<https://www.sti.tokushima-u.ac.jp/>



## 医学研究科



学際的な医科学教育を通して、生命科学の発展と医学・医療の高度化に対応した生命倫理に関する十分な見識を持ち、科学技術に偏向することのない高度な研究能力と学識を備えるとともに、社会に視野を向け貢献することのできる人間性豊かな研究者及び臨床医を養成し、併せて個性的な研究を推進、結実させ、未来を創る活力を持った大学院として医学の進歩と国民の健康の増進に寄与することを目的としています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/med/>



## 口腔科学研究科



(1) 口腔科学専攻は、口腔科学を中心とした生命科学に関する学術の理論及び応用の教育研究を通して、幅広い科学的基盤を持ち、かつ、専門性に秀でた、教育・研究・臨床並びに歯科行政などの分野で指導的役割を担う人材の養成、(2) 口腔保健学専攻は、口腔保健学を中心とした長寿福祉口腔保健学に関する豊かな専門的知識・技能及び科学的探求心を身につけた、次世代の歯科衛生士教育を担う教育・研究者又は健康長寿社会の実現に貢献する高度専門職業人を、それぞれ目的としています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/dent/>



## 薬学研究科



(1) 創薬科学専攻は、創薬科学に関する体系的な教育及び研究指導を通して、広い視野及び国際的に通用する力量を持った創薬・製薬の研究を遂行できる人材の育成を、(2) 薬学専攻は、医療現場に直結した研究指導を通して、最先端の薬物治療を支える研究実践能力を備えた高度な職能を有し、国民の健康増進に寄与する指導的薬剤師及び医療薬学研究者の育成を、それぞれ目的としています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/ph/>



## 医科栄養学研究科



医療機関や地域社会・産業分野で活躍する高度専門職業人、また教育研究機関で活躍する先端的な教育研究者の養成を目指し、基礎生命科学から多様な医療関連知識等を含む人間栄養学に関する幅広い教育を行うとともに、社会の要請に対応できる先導的研究を推進し、教育研究の成果を通じた人材育成及び社会貢献を行うことにより、栄養学の発展に寄与することを目的としています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/med/>



## 保健科学研究科



保健科学における実践的で、かつ実証的な教育や研究を通して、生命倫理やチーム医療を基盤とし、社会が必要としている多様なニーズに応えることのできる人間性豊かな高度医療専門職者、教育者、研究者の養成を目指すとともに、社会が求める要請に貢献することができる先導的な研究を推進し、健康増進と疾病予防および高度医療・回復支援・生活支援を理念とする保健科学の発展に貢献することを目的としています。

URL:[https://www.tokushima-u.ac.jp/med/health\\_science/](https://www.tokushima-u.ac.jp/med/health_science/)



## 総合科学教育部

(学生募集停止)



大学院総合科学教育部は現代社会が抱える地域課題、社会問題、環境問題などの解決に向けて、文理融合を含む総合的かつ学際的な視点からアプローチする「地域創生総合科学」の具体化を図ることを目的としています。そのために文化環境・社会環境・自然環境を総合・融合・俯瞰する環境調和型の地域社会づくりに携わる人材、並びに、地域再生・地域創生の担い手となる教育研究者及び専門の実務者の養成を目指しています。

URL:<https://www.ias.tokushima-u.ac.jp/>



## 先端技術科学教育部

(学生募集停止)



工学の基礎知識を基として、現代社会に生じている問題を幅広い視点で分析・解決する能力を備え、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を持ち、世界をリードする研究成果を発信し、豊かで健全な社会の創造に貢献できる人材を育成しています。また、地域社会の活力ある発展のために、社会人の再教育、地域企業との共同研究による技術開発を行い、平和な国際社会を構築するための国際交流を活性化しています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/e/>



## 大学院社会産業理工学研究部

人間・社会に関する諸科学及び自然科学を基盤として、社会的要請に対応した地域創生総合科学を中心とした学際的・総合的な研究、先端科学技術に関する研究及び生物資源の基礎・応用に関する研究の推進により新しい産業や社会を創出し、人文社会科学及び自然科学並びに科学技術の発展に寄与することを目的としています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/tiss/>



### 大学院社会産業理工学研究部

社会総合科学域

理工学域

生物資源産業学域

## 大学院医歯薬学研究部

医学、歯学、薬学、栄養学及び保健学を共通の基盤とし、生命科学研究の推進、疾患の原因及び病態の解明、治療法並びに予防法の開発に努め、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/bms/>



### 大学院医歯薬学研究部

医学域

歯学域

薬学域

保健学域

## 教養教育院

「教養教育」は新入生にとって最初の学びの場であり、幅広い学問領域を学ぶことで、広い視野と高い倫理性を持つ人格の形成、未来の諸問題に立ち向かう「進取の気風」の獲得、「持続可能な社会づくり」を担うための学問的基盤形成を目的としています。この学びは「教養科目群」「創成科学科目群」「基礎科目群」「外国語科目群」から構成され、あらゆる専門分野の基礎となっています。また、次のような特色あるプログラムを行っています。

### データサイエンス教育

政府のAI戦略に基づく社会の変革に対応できる人材を育成することを目指し、文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル・応用基礎レベル)に従った情報教育プログラムを提供しています。

### イノベーション教育

イノベーションを「新しいものごとを創出し、それを社会に実装することで社会そのものを変革する」と定義し、新しい価値を創出するための方法論やマインドセットに加え、社会実装の手段としての起業や新規事業創出、研究成果の事業化などの実現に必要な考え方や手法を学ぶ授業を、専門知識を有する学内教員に加え、国内外で活躍する起業家を外部講師に迎え展開しています。

### 語学マイレージ・プログラム

語学関連科目の単位取得、外国語技能検定試験の受験、その他様々なプログラムへの参加を通して、語学マイレージポイントを取得していく制度です。個々の目標・目的にあった語学力、コミュニケーション力等を養い、十分な語学運用能力を持つ人材を育成することを目的としています。



URL:<https://las.tokushima-u.com/>

## 先端酵素学研究所



先端酵素学研究所は、2016年に疾患酵素学研究中心と疾患プロテオゲノム研究中心を統合し、藤井節郎記念医科学センターと糖尿病臨床・研究開発センターを附属施設として設立されました。文部科学省から全国共同利用・共同研究拠点の認定を受けている研究施設です。我が国唯一の酵素学研究拠点としての先導的成果を基盤に病態解明と医療応用を目指す「基幹研究部門」、糖尿病・がん・免疫疾患等を“慢性炎症”という共通基盤病態で捉え、新たな学術領域の創出と牽引を目指す「重点研究部門」、個々の研究活動と拠点形成を強力にサポートする「技術開発支援部門」の3部門にて次世代を担う研究人材の育成と健康長寿社会の実現を目指し、最先端の医科学研究を展開しています。

URL:<https://www.iams.tokushima-u.ac.jp/>



### 藤井節郎記念医科学センター

藤井節郎記念医科学センターは、多くの治療薬を開発した故藤井節郎徳島大学教授を記念して設立されました。学際融合研究によりイノベーションに繋がれる優れた生命科学研究成果を挙げることをミッションとし、領域横断的なプロジェクト研究が展開できる学内外に開かれた研究施設です。

URL:<https://www.fujii.tokushima-u.ac.jp/>



### 糖尿病臨床・研究開発センター

糖尿病臨床・研究開発センターは、徳島県をはじめ国際的に重要な健康課題である糖尿病の克服をめざし、基礎医学と臨床医学を連携させた研究開発拠点です。研究プラットフォームに基づき、先進的な研究を臨床へ、そして地域へ展開します。

URL:<https://www.iams.tokushima-u.ac.jp/dtrc>



## ポストLEDフォトリクス研究所



ポストLEDフォトリクス研究所 (pLED) は、「新しい光の創出と応用」をキーワードに、本学が有するフォトリクス研究の強みを更に強化するため、内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」の交付対象事業として採択された徳島県「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」の中核研究施設として、2019年3月に設置されました。従来の可視・近赤外光を中心としたフォトリクスの利活用を、短波長側は深紫外光、長波長側はテラヘルツ波まで拡張し、次世代光源の開発や光による新しい医療にアプローチする医光融合研究など、創造的超高齢社会の実現と地域産業振興に貢献する先進的研究を行います。

所内では、赤外・テラヘルツ・深紫外の三つの光を縦糸に、医療、メタマテリアルといった技術応用を横糸にして、分野の縦割りや研究・組織の壁をなくし人材と知を掛け合わせる取り組み「ボーダレス・フォトリクス」を実践しています。また、外部連携では、国内外の様々な大学・研究所・企業の方々との共同研究も展開しています。

柔軟で新しいラボの在り方を追求し、研究をさらに加速して社会に還元していきたいと考えています。

URL:<https://www.pled.tokushima-u.ac.jp/>



## 人と地域共創センター



人と地域共創センターは、多くの公開講座を開講してきた「大学開放実践センター」とサテライトオフィスの運営など様々な地域活性化活動を展開してきた「地域創生センター」、そして、ものづくりを中心とした企業人のリカレント教育を行ってきた研究支援・産官学連携センターの「産業人材育成部門」を統合し、さらに、若者の徳島への定着に取り組む「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」を実施する「COCプラス推進本部事務局」を取り込むことにより、2019年4月に設置されました。

当センターは、本学のリカレント教育と地方創生の拠点として、地域課題の解決と豊かな地域社会の創造を推進することを目指し、地域貢献に取り組んでいきます。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccell/>



## 情報センター



全学的な情報化施策の実施や本学における教育、研究、社会貢献及び大学運営に係る情報関連業務の円滑な遂行のため、情報教育の支援、各部局等における情報化支援等を行いながら、ICT技術に関する研究・開発を目的とするとともに、本センターのICT技術や情報セキュリティマネジメントシステムの経験を活かして、地域社会の人材育成の支援や情報セキュリティ活動に対する支援を行っています。

URL:<https://www.ait.tokushima-u.ac.jp/>



## 放射線総合センター



放射線総合センターは、放射性同位元素等を使用して行う教育及び研究の用に供する施設であるとともに、本学における放射性同位元素等の放射線安全管理及びそのための研究・開発並びに情報収集を行っています。また、放射線業務に従事する教職員・学生に対して必要な教育訓練の実施や研究支援など放射線に関する総合的かつ中心的な役割を担い、教育及び研究の進展に寄与するとともに、公開講座等の開催により地域社会における放射線に関する知識の普及に協力することを目的としています。

URL:<https://www.arremc.tokushima-u.ac.jp>



## 高等教育研究センター



学生の入学前から就職に至るまで一貫した教育・学生支援を強化するため、全学的視点から教育の質保証に資するデータを活用し、入学者選抜、教育改革、ICT活用教育、創新教育、国際教育、学生生活及びキャリア形成に取り組むとともに、関係教職員を参加させ、運営を支援することにより、組織間の連携や教職協働による業務の充実・改善を図ることを目的としています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/highedu/>



## 環境防災研究センター



地域の防災と自然環境保全に関する研究を推進するとともに、地域に密着した活動を通して地域貢献の責務を果たすことを目的としています。本センターは、環境と防災に関する総合的研究を行うために2004年に設置され、2010年からは学内共同教育研究施設となり、地域の防災対策と自然環境の保全との両立のために、工学、理学、人文・社会科学、医学・薬学・歯学・看護学など広範な学術分野の有機的連携と協働を進めています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/rcmode/>



## 研究支援・産官学連携センター



研究支援・産官学連携センターは、専門人材であるURAと産学連携コーディネーターが所属し、大学機能の強化に向けた取り組み、学内融合研究の促進、研究環境の整備を支援しています。2022年にはSDGs推進部門を新設し、研究・産学連携におけるSDGsへの取り組みなど社会課題の解決を目指して活動するとともに、大学の研究成果を社会に還元する手段として、共同研究プロジェクト及び産官学連携活動を積極的に推進しています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/>



## AWAサポートセンター



AWAサポートセンターでは、女性研究者のキャリア支援や研究力向上に関わる支援活動に加え、すべての教職員の仕事と生活の調和に向けたワークライフバランス支援に関わる施策を実施しています。また、四国5国立大学、2公設試験研究機関、2企業との連携により進めている「四国発進！ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト」事業によって、四国の産官学の連携が広がり、女性研究者が中心となって四国の豊かな地域資源を活用した研究が活発に行われるようになりました。

今後も男女共同参画社会のメリットを実感出来る大学を目指し、地域・産官学との連携を視野に入れた活動を推進していきます。

URL:<https://www.awasapo.tokushima-u.ac.jp/>



## 教職教育センター



教員養成課程の維持及び充実を図るとともに、学内外の教育関連機関等と連携・協同し、教員養成及び現職教員研修の質の向上を図ることを目的としています。

## 先端研究推進センター



大学院医歯薬学研究部総合研究支援センターで担ってきた機能を全学組織に移行することにより、高度なレベルで全学的視点から総合的に支援・推進するため、2019年4月に設置しました。「バイオイメージング部門」では分子から動物個体までを対象とする最先端イメージング研究支援活動を、「動物資源研究部門」では、全学の動物実験、実験動物の飼育管理、開発及び動物実験に関する教育・研究を支援しています。

T-BIS



バイオイメージング部門

URL:<http://www.tbis2013.net/>



動物資源研究部門

URL:<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/DAV/organization/10998/>



## デザイン型AI教育研究センター



デザイン型AI教育研究センターは、AI・データサイエンス技術を活用し、デザイン思考で社会課題の解決にあたる人材の育成を目的として、2020年4月に設置されました。センターには、AI教育推進部門、AI研究開発部門、AI社会実装部門の3部門があり、学内外におけるAI・データサイエンス教育の推進と、学際的なAI研究の展開、そしてAIの社会実装と地域経済の発展に向けて活動しています。



URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/ai/>

## 大学産業院



大学産業院は、各種開発技術の事業化判断を可能とするプロトタイプ開発と、それらを通じた学内外産業人材育成を行うことにより、研究から事業化へのスムーズな展開を図ることを目的に、「産業院」を発展的に解消し、2023年7月に設置しました。

当院には、「ものづくり未来共創機構」及び「次世代光インキュベーション機構」の2つの機構を置き、「ものづくり未来共創機構」では、新たな事業の創出の推進や産業創出に貢献する人材育成、アントレプレナーシップ教育に関すること、「次世代光インキュベーション機構」では、次世代光関連技術を活用した製品プロトタイプ開発と、事業化プラン作成による新事業創出の促進及びそれらを通じた人材育成を行います。



## バイオイノベーション研究所



バイオイノベーション研究所（BIRC：Bio-Innovation Research Center）は、本学が地域や産業界と連携し、生物系新産業や6次産業化にかかるオープンイノベーションを推進する目的で設立しました。経済産業省から「地域オープンイノベーション拠点」に選定されており、大学と企業をつなぐネットワークのハブとなって、農林水産業や食、健康の未来を展望した革新的な研究活動や教育を実践し、大学発ベンチャー企業など新産業の創出や地域産業のイノベーションを支える人材の育成を進めています。

2021年度に経済産業省の「産学連携推進事業費補助金（地域の中核大学の産学融合拠点の整備）」事業に採択され、当事業により、2023年8月に産学融合拠点として企業等の研究者と共同研究を行う施設（ヴォルテックス棟）が完成しました。本研究所が培ってきた複数の研究課題を基に共同研究を進め、社会実装を目指します。



URL:<https://www.birc.tokushima-u.ac.jp/>

## 埋蔵文化財調査室



施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する(1)実施計画の立案及び実施、(2)出土した埋蔵文化財の整理、保管及び保存、(3)報告書の作成、(4)その他埋蔵文化財の発掘調査に関し必要な事項を行います。

URL:<http://tokudaimabun.jp/>



## 四国産学官連携イノベーション共同推進機構



四国産学官連携イノベーション共同推進機構は、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学及び高知大学の四国5国立大学における産学官連携部門共通業務の統合・一元化を図ることにより、大学の枠を超えた質・量ともに充実した取組み実施を可能とし、知の集積、人材の育成、国内外の大学と社会の接点及びイノベーション創出拠点を構築することを目的として活動しています。

URL:<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/project/sico/>



## 附属図書館



附属図書館は、本館（常三島地区）、蔵本分館（蔵本地区）の2館で構成されており、大学の中核的な学術情報基盤として徳島大学の教育・研究活動を支えるとともに、教育・学修を支援する副館長と図書館職員の配置、多様な学習形態に対応した施設・設備により充実した学修環境を提供しています。また、所蔵資料の展示や公開等を通じて地域の文化振興にも寄与しています。

URL:<https://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>



## 病院

病院は、現在内科21診療科、歯科4診療科、65中央診療施設等からなり、692の病床を備え、地域の特定機能病院として医学・歯学の両面から高度で先進的な医療を提供しています。また、「徳島大学病院」と「徳島県立中央病院」が隣接しているという地理的条件を最大限に活かし、ハード・ソフト両面にわたり、両病院の特徴と特性を伸ばす方向で、更なる「連携強化」や「効果的な機能分担」を進めることで、県全体の医療の質の向上を目的とする「総合メディカルゾーン」が完成しました。今後も、地域医療のキーワードである連携、機能分化を念頭に、高い倫理観を備えた医療人の育成、高度先進医療の開発と推進により、地域医療への貢献を果たす「地域に根ざし世界にはばたく徳島大学病院」を目指します。

URL:<https://www.tokushima-hosp.jp/>



2022年度診療科別入院及び外来患者数

URL: <https://www.tokushima-hosp.jp/pr/magazine.html>



内科診療部門	入院患者数	198,659人
	外来患者数	379,879人
歯科診療部門	入院患者数	4,136人
	外来患者数	105,418人

## インスティテューショナル・リサーチ室



学内外の様々な情報の収集、分析及び管理等を通じて徳島大学における教育、研究、社会貢献、診療及び管理運営等について支援を行い、もって大学改革に資することを目的とする教職協働組織として設置されています。

主な業務内容

- (1) 大学運営に関する意志決定支援及び大学運営等への提言
- (2) 情報の収集、分析、報告及び各部局が行う分析等の支援
- (3) 本学の組織の活動状況に関する評価及び教員業績評価の支援
- (4) 中期目標・中期計画の策定及び自己点検・評価活動の支援

URL :<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/DAV/organization/276983/>



## テクニオン連携室



徳島大学、テクニオンーイスラエル工科大学（以下「テクニオン」）及び日亜化学工業株式会社は、従来の国際連携にはない長期的な視点に立ち、研究力強化、並びに世界レベルで活躍できる優秀な人材育成に向けて相互協力していくことで合意しています。

これらテクニオンとの国際共同研究、人材交流事業全体を俯瞰して推進し、支援することを目的として、2020年11月1日、「徳島大学テクニオン連携室」を設置しました。テクニオン連携室では、徳島国際サイエンス研究所（通称「TISI」）の事業活動をはじめ、テクニオンの著名な研究者によるセミナーの企画運営、若手研究者の人材交流事業や学生交流など、テクニオンとの学術交流を推進します。

URL :<https://www.acot.tokushima-u.ac.jp/>



## キャンパスライフ健康支援センター



学生及び教職員の健康の保持増進及び良好な修学・就労環境を確保するため下記の部門があります。

- (1) 保健管理部門（保健管理センター） 学生及び教職員の心身の健康の保持増進を図る施設です。各種健康診断をはじめとする健康管理、健康指導や診療を行っています。
- (2) 総合相談部門（総合相談室） 学生及び教職員の様々な悩みの相談窓口です。学生相談や職員相談に応じて、それぞれに専門的な立場から支援しています。
- (3) アクセシビリティ支援部門（アクセシビリティ支援室） 障がい学生が修学や研究を行っていく上で、必要な配慮を相談・立案し、関連部局等とも連携して快適な学生生活を送れるよう支援を行っています。

URL :<https://www.tokushima-u.ac.jp/hsccl/>



## 障がい者就労支援センター



学内の各組織及び地域の特別支援学校等と連携して、障がい者の就労を支援し、障がい者雇用の推進に寄与するとともに、障がい者の生涯発達を支える環境づくりとその充実を図り、障がい者の社会的及び職業的自立を支援することを目的としています。建物内・構内の清掃や各組織の業務支援、特別支援学校生の職場体験実習の受け入れ等を行っています。





●部局名	●寄附講座等の名称	●設置年月日	●存続期間	●寄附企業等
大学院医歯薬学研究所	地域総合医療学分野	2013年12月1日	3年×2期 4年×1期	公立学校共済組合四国中央病院
	総合診療医学分野	2014年4月1日	1年更新	徳島県
	脊椎関節機能再建外科学分野	2014年7月1日	5年×1期 2年×1期 3年×1期	泉工医科工業(株)、(株)エム・デイ・エム、 (株)サージカル・スパイン、ニプロ(株)
	地域医療人材育成分野	2015年2月1日	4年2月×1期 3年×2期	愛媛県、 公立学校共済組合四国中央病院
	地域消化器・総合内科学分野	2017年3月1日	4年1月×1期 5年×1期	高松市
	地域循環器内科学分野	2017年11月1日	4年5月×1期 5年×1期	高松市
	地域運動器・スポーツ医学分野	2017年11月1日	5年×1期 2年×1期	JA徳島厚生連、医療法人倚山会田岡病院、 社会医療法人凌雲会稲次病院、 医療法人青鳳会美摩病院
	地域リウマチ・総合内科学分野	2019年4月1日	5年間	三好市
	地域呼吸器・総合内科学分野	2019年4月1日	5年間	JA高知厚生連
	実践地域診療・医科学分野	2020年4月1日	5年間	JA徳島厚生連
	地域呼吸器・一般外科学分野	2020年6月1日	5年間	JA高知厚生連
	地域脳神経医療学分野	2021年9月1日	3年間	社会医療法人石川記念会HITO病院
	地域呼吸器・血液・代謝内科学分野	2022年4月1日	5年間	高松市
	先端酵素学研究所	生体防御病態代謝研究分野	2017年10月1日	8年間
病院	地域産婦人科診療部	2014年4月1日	1年更新	徳島県
	ER・災害医療診療部	2014年4月1日	1年更新	徳島県
	地域外科診療部	2014年4月1日	1年更新	徳島県
	地域脳神経外科診療部	2014年4月1日	1年更新	徳島県
	麻酔科診療部	2017年4月1日	1年更新	徳島県
	地域小児科診療部	2018年4月1日	1年更新	徳島県
	高度先進整形外科診療部	2023年4月1日	1年更新	徳島県

## 共同研究講座

●部局名	●共同研究講座等の名称	●設置年月日	●存続期間	●外部機関等
大学院医歯薬学研究所	先端脳機能研究開発分野	2020年6月1日	2年×2期	ビューティーライフ(株)
	微生物防除研究分野	2022年11月1日	2年	日亜化学工業(株)
バイオイノベーション研究所	動物生産技術分野	2019年4月1日	5年	ミヤリサン製薬(株)

## 協働研究所

●協働研究所の名称	●設置年月日	●存続期間	●共同研究機関	●連携先機関
徳島国際サイエンス研究所	2021年1月1日	4年	日亜化学工業(株)	テクニオン・イスラエル工科大学



# 基礎データ

●学生数 7,456人(学部5,946人、大学院1,510人)









●教職員数 2,359人(役員等8人、教授241人、准教授201人、講師128人、助教209人、特任教授等158人、事務系・技術系・医療系職員1,414人)

●財政データ[2022年度決算額]

収入 53,481百万円 [主な内訳 運営費交付金12,029百万円、自己収入31,580百万円(うち病院27,192百万円)]

支出 49,922百万円 [主な内訳 教育研究経費15,195百万円、診療経費25,049百万円]

## 歴代学長

初代	中田 篤郎 医学博士 1949年5月31日～1952年10月20日	
第2代	児玉 桂三 医学博士 1953年4月1日～1965年3月31日	
第3代	長谷川 万吉 理学博士 1965年6月1日～1969年9月25日	
第4代	北村 義男 医学博士 1970年1月10日～1976年1月9日	
第5代	山田 憲吾 医学博士 1976年1月10日～1979年1月9日	
第6代	岡 芳包 医学博士 1979年1月10日～1982年1月9日	
第7代	添田 喬 工学博士 1982年1月10日～1988年1月9日	
第8代	久保田 晴寿 薬学博士 1988年1月10日～1991年1月9日	
第9代	武田 克之 医学博士 1991年1月10日～1997年1月9日	
第10代	齋藤 史郎 医学博士 1997年1月10日～2003年1月9日	
第11代	青野 敏博 医学博士 2003年1月10日～2010年3月31日	
第12代	香川 征 医学博士 2010年4月1日～2016年3月31日	
第13代	野地 澄晴 理学博士 2016年4月1日～2022年3月31日	
第14代	河村 保彦 理学博士 2022年4月1日～	

## 事務取扱

高森 時雄 1952年10月21日～1953年3月31日

伊東 半次郎 1965年4月1日～1965年5月31日

鈴木 幸夫 1969年9月26日～1970年1月9日

## 沿革

- 1949年 ●旧制の徳島師範学校、徳島青年師範学校、徳島医科大学、徳島医学専門学校、徳島高等学校及び徳島工業専門学校を包括した徳島大学の設置(学芸学部・医学部・工学部の3学部)
- 徳島医科大学附属病院を徳島大学医学部附属病院と改称
- 1951年 ●薬学部を設置
- 1955年 ●大学院医学研究科を設置(2004年 大学院医科学教育部に改組)
- 1964年 ●大学院工学研究科を設置(2006年 大学院先端技術科学教育部に改組)
- 1965年 ●大学院薬学研究科を設置(2004年 大学院薬科学教育部に改組)
- 1966年 ●学芸学部を教育学部と改称
- 1969年 ●大学院栄養学研究科を設置(2004年 大学院栄養生命科学教育部に改組)
- 1976年 ●歯学部を設置
- 1983年 ●大学院歯学研究科を設置(2004年 大学院口腔科学教育部に改組)
- 1986年 ●教育学部を改組し、総合科学部を設置
- 1994年 ●大学院人間・自然環境研究科を設置(2009年 大学院総合科学教育部に改組)
- 2004年 ●国立大学法人法により国立大学法人徳島大学を設立
- 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部を設置(2015年 大学院医歯薬学研究部に改称)
- 2006年 ●大学院ソシオテクノサイエンス研究部を設置(2016年 大学院理工学研究部に改称)
- 大学院保健科学教育部を設置
- 2009年 ●大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部を設置
- (2016年 大学院総合科学研究部に改称)
- 2010年 ●徳島大学病院の設置(医学部・歯学部附属病院の転換)
- 2016年 ●工学部を理工学部に改組
- 生物資源産業学部を設置
- 大学院生物資源産業学研究部を設置
- 教養教育院を設置
- 疾患酵素学研究センター及び疾患プロテオゲノム研究センターを改組し、先端酵素学研究所を設置
- 2017年 ●大学院総合科学研究部、大学院理工学研究部及び大学院生物産業資源学研究部を改組し、大学院社会産業理工学研究部を設置
- 2019年 ●ポストLEDフォトニクス研究所を設置
- 2020年 ●大学院総合科学教育部と大学院先端技術科学教育部を改組し、大学院創成科学研究科を設置
- バイオイノベーション研究所を設置
- 2022年 ●大学院医科学教育部を大学院医学研究科に、大学院口腔科学教育部を大学院口腔科学研究科に、大学院薬科学教育部を大学院薬学研究科に、大学院栄養生命科学教育部を大学院医科栄養学研究科に、大学院保健科学教育部を大学院保健科学研究科に改称

## 【役員】

学長	河村 保彦
理事・副学長(教育担当)	長宗 秀明
理事・副学長(研究担当)	佐々木 卓也
理事・副学長(地域・産官学連携担当)	吉田 和文
理事・副学長(総務・財務・経営改革担当)	吉野 明
理事・副学長(病院担当)	香美 祥二
理事・副学長(広報・渉外担当)(非常勤)	田村 耕一
監事	矢部 誠一
監事(非常勤)	立木 さとみ

## 【副学長】

副学長(大学間連携担当)	菱山 豊
副学長(教育担当)(非常勤)	河野 文昭
副学長(テクノオンとの連携担当)(非常勤)	福井 清

## 【経営協議会学外委員】

株式会社クラッシー代表取締役	植田 貴世子
ケーブルテレビ徳島株式会社代表取締役社長	梅田 真司
株式会社阿波銀行取締役監査等委員会委員長	大西 康生
徳島県病院事業管理者	北畑 洋
徳島県知事	後藤田 正純
学校法人富澤学園理事長	結城 章夫
一般社団法人徳島新聞社理事長	米田 豊彦

## 【副理事】

副理事(教育支援担当)	齊藤 隆仁
副理事(国際教育担当)	森賀 俊広
副理事(国際教育担当)	小暮 健太郎
副理事(創新教育担当)	寺田 賢治
副理事(学生支援担当)	吉村 弘
副理事(AI教育担当)	石田 基広
副理事(研究(企画)担当)	安友 康二
副理事(研究(企画)担当)	安井 武史
副理事(研究(企画)担当)	難波 康祐
副理事(研究(ヘルスケア・機器整備)担当)	竹谷 豊
副理事(地域連携担当)	山中 英生
副理事(地域連携担当)	赤池 雅史
副理事(地域連携担当)	豊田 哲也
副理事(地域連携担当)	田中 俊夫
副理事(産官学連携担当)	森松 文毅
副理事(産官学連携担当)	馬場 良泰
副理事(情報担当)	松浦 健二
副理事(男女共同参画担当)	坂東 良美
副理事(広報担当)	上田 哲史

## 【監査室】

監査室長	宮本 美恵
------	-------

## 【事務局】

事務局長	吉野 明
総務部長	野澤 知弘
総務部経営戦略課長	中野 栄司
総務部総務課長	山瀬 浩幸
総務部未来創造課長	滝川 泰弘
総務部人事課長	大川 直昭
総務部地域創生課長	沖津 貴司
財務部長	本多 秀幸
財務部次長(財務課長併任)	濱田 光男
財務部資産管理課長	長谷川 稔
財務部常三島会計課長	津川 直樹
財務部蔵本会計課長	森本 孝枝
学務部長	大村 源一郎
学務部教育支援課長	岩森 清澄
学務部学生支援課長	兒玉 実和
学務部入試課長	坂本 恵子
学務部国際課長	真名野 佳代
施設マネジメント部長	田原 一幸
施設マネジメント部施設企画課長	小磯 雅史
施設マネジメント部常三島施設課長	守山 聡
施設マネジメント部蔵本施設課長	上田 敦
研究・産学連携部長	武市 学
研究・産学連携部研究・産学企画課長	貝出 嘉幸
研究・産学連携部常三島研究・産学支援課長	川野 真一
研究・産学連携部蔵本研究・産学支援課長	垣添 裕之
研究・産学連携部地域産業創生事業推進課長	井元 純
学術情報部長	米田 雅信
学術情報部図書情報課長	前田 朋彦
学術情報部情報企画課長	深来 孝信

## 【各事務部】

常三島事務部長	泉 朗
常三島事務部総合科学部事務課長	宮本 晴江
常三島事務部理工学部事務課長	荒木 俊典
常三島事務部生物資源産業学部事務課長	青木 正弘
蔵本事務部長	福川 美千代
蔵本事務部医学部総務課長	津川 咲子
蔵本事務部医学部学務課長	木下 靖彦
蔵本事務部歯学部事務課長	林 三知夫
蔵本事務部薬学部事務課長	河野 勉
病院事務部長	脇元 直彦
病院事務部次長(総務課長併任)	原田 直樹
病院事務部経営企画課長	樋口 優
病院事務部経理調達課長	原井 由美
病院事務部医事課長	立山 あけみ
病院事務部施設企画管理連携室長	藤川 勲

---

**【学部】**

総合科学部長	高橋 晋一
医学部長	西岡 安彦
歯学部長	馬場 麻人
薬学部長	土屋 浩一郎
理工学部長	武藤 裕則
生物資源産業学部長	松木 均

---

**【大学院】**

創成科学研究科長	武藤 裕則
国際連携教育研究センター長	安澤 幹人
医学研究科長	西岡 安彦
口腔科学研究科長	馬場 麻人
薬学研究科長	土屋 浩一郎
附属医薬創製教育研究センター長	難波 康祐
医科栄養学研究科長	二川 健
保健科学研究科長	森 健治
総合科学教育部長	高橋 晋一
先端技術科学教育部長	武藤 裕則
社会産業理工学研究部長	山中 英生
総合技術センター長	山中 英生
地域協働技術センター長	長谷崎 和洋
医歯薬学研究部長	赤池 雅史
総合研究支援センター長	米村 重信
医療教育開発センター長	赤池 雅史
宇宙栄養研究センター長	二川 健
看護リカレント教育センター長	山下 留理子
DDS研究センター長	小暮 健太郎

---

**【教養教育院】**

教養教育院長	南川 慶二
--------	-------

---

**【研究所】**

先端酵素学研究所長	松久 宗英
ポストLEDフォトニクス研究所最高経営責任者	佐々木 卓也
ポストLEDフォトニクス研究所最高研究責任者	安井 武史
ポストLEDフォトニクス研究所最高事業責任者	松岡 薫

---

**【病院】**

病院長	香美 祥二
副病院長(総務担当)	原田 雅史
副病院長(診療担当)	西良 浩一
副病院長(歯科担当)	湯本 浩通
副病院長(医療安全管理担当)	高木 康志
副病院長(看護担当)	上田 美香
病院長補佐(教育・研究・地域連携担当)	脇野 修
病院長補佐(救急・災害担当)	大藤 純
病院長補佐(医歯連携担当)	川人 伸次
病院長補佐(ダイバーシティ・環境担当)	三田村 佳典
病院長補佐(研修・キャリア支援担当)	滝沢 宏光
病院長補佐(経営企画担当)	高山 哲治
病院長補佐(医療支援担当)	中尾 隆之
病院長補佐(経営担当)	近藤 武
病院長補佐(事務担当)	脇元 直彦

---

**【附属図書館】**

館長	大高 章
蔵本分館長	西村 明儒
副館長	依岡 隆児
副館長	上田 哲史

---

**【共同教育研究施設等】**

人と地域共創センター長	田中 俊夫
情報センター長	松浦 健二
放射線総合センター長	三好 弘一
高等教育研究センター長	長宗 秀明
環境防災研究センター長	蔣 景彩
研究支援・産官学連携センター長	馬場 良泰
AWAサポートセンター長	坂東 良美
教職教育センター長	坂田 大輔
先端研究推進センター長	松本 高広
デザイン型AI 教育研究センター長	石田 基広
大学産業院長	河村 保彦
バイオイノベーション研究所長	音井 威重
埋蔵文化財調査室長	吉野 明
四国産学官連携イノベーション共同推進機構長	吉田 和文

---

**【インスティテューショナル・リサーチ室】**

インスティテューショナル・リサーチ室長	大家 隆弘
---------------------	-------

---

**【テクニオン連携室】**

テクニオン連携室長	福井 清
-----------	------

---

**【キャンパスライフ健康支援センター】**

キャンパスライフ健康支援センター長	井崎 ゆみ子
-------------------	--------

---

**【障がい者就労支援センター】**

障がい者就労支援センター長	米崎 正則
---------------	-------

---

**【特別な組織】**

経営改革推進本部長	河村 保彦
教育戦略室長	長宗 秀明
国際連携戦略室長	河野 文昭
研究戦略室長	佐々木 卓也
地域連携戦略室長	吉田 和文
情報戦略室長	吉田 和文
広報戦略室長	田村 耕一
男女共同参画推進室長	吉野 明

# 学生数

## 学部

2023年5月1日現在

学部・学科	定員		在学者数							内訳		
	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計	男	女	
総合科学部	社会総合科学科	170	680	172	180	173	187			712	268	444
	社会創生学科						1			1	1	
	学部計	170	680	172	180	173	188			713	269	444
医学部	医学科	112	682	116	121	115	126	113	125	716	430	286
	医科栄養学科	50	200	53	49	49	55			206	21	185
	保健学科	○16	○32			○1	○2			○3	○1	○2
		124	496	133	138	123	122			516	106	410
	学部計	○16	○32			○1	○2			○3	○1	○2
歯学部	歯学科	○3	○15		○1	○2	○1	○4	○1	○9	○4	○5
		40	240	40	38	38	39	41	42	238	136	102
	口腔保健学科	15	60	15	16	16	14			61	2	59
	学部計	○3	○15		○1	○2	○1	○4	○1	○9	○4	○5
薬学部	薬学科	80	360	89	85	79	42	41	39	375	160	215
	創製薬科学科		40	1	2	5	37			45	27	18
	学部計	80	400	90	87	84	79	41	39	420	187	233
理工学部	理工学科	○35	○70			○36	○26			○62	○59	○3
		580	2,230	670	636	552	505			2,363	2,089	274
	理工学科(夜間主)	45	180	67	53	48	46			214	185	29
	学部計	○35	○70			○36	○26			○62	○59	○3
		625	2,410	737	689	600	551			2,577	2,274	303
生物資源産業学部	生物資源産業学科	○2	○6		○2	○3	○2			○7	○5	○2
		100	400	111	108	104	95			418	187	231
	学部計	○2	○6		○2	○3	○2			○7	○5	○2
		100	400	111	108	104	95			418	187	231
合計		○56	○123		○3	○42	○31	○4	○1	○81	○69	○12
		1,316	5,568	1,467	1,426	1,302	1,269	195	206	5,865	3,612	2,253

注 ○印は第2年次編入学生及び第3年次編入学生を外数で示す。(歯学部歯学科は第2年次編入学であるが、10月入学)



# 大学院修士(博士前期)・博士(博士後期)課程

2023年5月1日現在

研究科・教育部	専攻	課程	定員		在学者数						
			入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	内訳	
										男	女
修士(博士前期)課程	創成科学研究科	地域創成専攻	/	/		4			4	3	1
		臨床心理学専攻	/	/		5			5	1	4
		理工学専攻	/	/		17			17	12	5
		生物資源学専攻	/	/		1			1	1	
	創成科学研究科	地域創成専攻	前期 (2022年度~)	16	32	16	9		25	11	14
		臨床心理学専攻		12	24	13	12		25	8	17
		理工学専攻		308	616	328	318		646	592	54
		生物資源学専攻		39	78	50	36		86	46	40
		計		375	750	407	402		809	674	135
	医学研究科	医科学専攻	修士	10	20	12	8		20	9	11
口腔科学研究科	口腔保健学専攻	前期	5	10	2	3		5		5	
薬学研究科	創薬科学専攻	前期	35	70	35	35		70	44	26	
医科栄養学研究科	医科栄養学専攻	前期	22	44	23	26		49	8	41	
保健科学研究科	保健学専攻	前期	27	54	24	30		54	23	31	
先端技術科学教育部 (学生募集停止)	システム創生工学専攻	前期	/	/		1		1	1		
	計		474	948	503	505		1,008	759	249	
博士(博士後期)課程	創成科学研究科	創成科学専攻	後期	47	94	28	18		46	39	7
	医学研究科	医学専攻	博士	51	204	51	36	36	90	150	63
	口腔科学研究科	口腔保健学専攻	後期	2	6	2	1	9	12	1	11
		口腔科学専攻	博士	18	72	14	26	18	21	79	42
	薬学研究科	創薬科学専攻	後期	10	30	7	7	15	29	22	7
		薬学専攻	博士	4	16	1	3	3	3	10	4
	医科栄養学研究科	医科栄養学専攻	後期	9	27	6	8	15	29	10	19
	保健科学研究科	保健学専攻	後期	5	15	7	9	18	34	12	22
	総合科学教育部 (学生募集停止)	地域科学専攻	後期	/	4			7	7	3	4
	先端技術科学教育部 (学生募集停止)	知的力学システム工学専攻	後期	/	14		2	11	13	12	1
物質生命システム工学専攻		/		9		2	9	11	10	1	
システム創生工学専攻		/		20		3	16	19	18	1	
	計			43		7	36	43	40	3	
	計		146	511	116	115	157	114	502	323	179
	合計		620	1,459	619	620	157	114	1,510	1,082	428



# 入学者状況

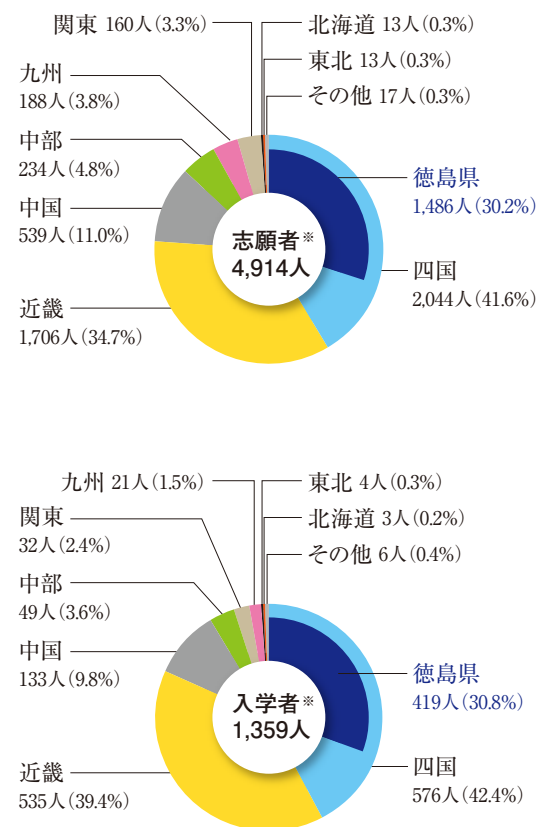
2023年5月1日現在

## 学部

学部	学部・学科	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	
総合科学部	社会総合科学科	170	539	192	170	
医学部	医学科	112	323	114	112	
	医科栄養学科	50	145	53	52	
	保健学科	看護学	70	265	75	72
		放射線技術科学	37	227	42	38
		検査技術科学	17	44	20	20
		学科計	124	536	137	130
計	286	1,004	304	294		
歯学部	歯学科	40	441	43	40	
	口腔保健学科	15	69	15	15	
	計	55	510	58	55	
薬学部	薬学科	80	596	94	84	
理工学部	理工学科（昼間）	580	1,739	676	599	
生物資源産業学部	生物資源産業学科	100	393	119	106	
	昼間計	1,271	4,781	1,443	1,308	
理工学部	理工学科（夜間主）	45	133	52	51	
	合計	1,316	4,914	1,495	1,359	

※私費外国人留学生選抜・国費外国人留学生・外国政府派遣留学生を含まない。  
ただし、入学定員充足率には、私費外国人留学生選抜・国費外国人留学生・外国政府派遣留学生を含め計上する。

## 学部志願者・入学者の地区分布



## 大学院修士・博士課程

2023年5月1日現在

研究科	課程	入学定員	志願者数	入学者数
創成科学研究科	博士前期	375	(6) 481	(6) 401
	博士後期	47	(9) 22	(9) 19
医学研究科	修士	10	(2) 10	(2) 10
	博士	51	(10) 46	(10) 41
口腔科学研究科	博士前期	5	2	2
	博士後期	2	2	2
	博士	18	16	14
薬学研究科	博士前期	35	41	35
	博士後期	10	7	7
	博士	4	1	1
医科栄養学研究科	博士前期	22	33	22
保健科学研究科	博士後期	9	(2) 4	(2) 4
	博士前期	27	31	24
保健科学研究科	博士前期	27	31	24
	博士後期	5	(1) 6	(1) 6
合計		620	(30) 702	(30) 588

※上段（ ）書きは2022年度の秋季入学試験の志願者・入学者を外数で示す。※定員外入学者含む。

※…昼+夜（編入学生は含まない）

# 学年暦

## 前期 (4月1日～9月30日)

4月1日	前期開始
4月1日～4月5日	春季休業
4月3日～4月11日	新入生オリエンテーション
4月6日	入学式
4月12日	前期授業開始
8月1日～8月31日	夏季休業
9月30日	前期終了

## 後期 (10月1日～3月31日)

10月1日	後期開始
10月2日	後期授業開始
11月2日	開学記念日
12月25日～1月7日	冬季休業
3月22日	卒業式・大学院修了式
3月25日～3月31日	学年末休業
3月31日	後期終了

# 学位授与数

## 学部

学部	学位	令和4年度卒業生数	累計
総合科学部	学士(総合科学)	174	8,340
医学部(医学科)	学士(医学)	115	6,460
(医科栄養学科)	学士(栄養学)	51	293
※(栄養学科)	※学士(栄養学)		2,420
(保健学科)	学士(看護学)	76	1,380
	学士(保健学)	52	1,020
歯学部	学士(歯学)	35	2,123
	学士(口腔保健学)	15	192
薬学部	学士(薬学)	39	4,704
	学士(薬科学)	38	539
理工学部	学士(理工学)	569	2,198
※工学部	※学士(工学)	6	26,638
生物資源産業学部	学士(生物資源産業学)	101	388
※教育学部	※教育学士		6,529
合計		1,271	63,224

※教育学部は平成2年3月31日廃止  
 ※医学部栄養学科は平成30年3月31日廃止  
 ※工学部は令和5年3月31日廃止

## 大学院

学位	修士		課程博士		論文博士	
	令和4年度	累計	令和4年度	累計	令和4年度	累計
学術	14	913	1	25		2
臨床心理学	4	204				
医科学	7	192				
医学			43	1,575		1,763
歯学			9	473		40
学術(歯学)				22		3
口腔保健学	3	50	1	6		
※薬学		1,115	1	218	1	80
※生命薬学		149				
※医療薬学		48				
※臨床薬学		106		16		3
薬科学	33	360	10	75	1	10
栄養学	33	963	9	301		96
保健学	17	167	3	59		2
看護学	9	198				
工学	285	10,553	22	966	1	124
理学	16	33				
生物資源学	38	77				
合計	459	15,128	99	3,736	3	2,123

※薬学(修士)は平成23年3月31日廃止  
 ※生命薬学は平成24年3月31日廃止  
 ※医療薬学は平成23年3月31日廃止  
 ※臨床薬学(修士)は平成19年3月31日廃止  
 臨床薬学(博士)は平成20年3月31日廃止

# 進学・就職状況

## 学部卒業生(2022年度)

2023年5月1日現在

学部学科等	卒業生数	進学者数	その他	就職希望者数	就職者数	就職率
総合科学部	174	19	8	147	145	98.6%
医学部						
医学科	115	0	0	115	115	100%
医科栄養学科	51	21	0	30	29	96.7%
保健学科	128	23	6	99	97	98.0%
歯学部						
歯学科	35	0	10	25	25	100%
口腔保健学科	15	2	0	13	13	100%
薬学部						
薬学科	39	0	1	38	38	100%
創製薬科学科	38	37	1	0	0	—
理工学部						
昼間コース	529	320	10	199	197	99.0%
夜間主コース	40	17	1	22	20	90.9%
工学部						
(学生募集停止)						
昼間コース	5	0	2	3	3	100%
夜間主コース	1	0	0	1	1	100%
生物資源産業学部	101	61	2	38	37	97.4%

## 大学院修了者

(2022年度)

研究科・教育部	課程	修了者数	進学者数	その他	就職希望者数	就職者数	就職率
創成科学研究科	(修士・博士前期)	357	6	15	336	335	99.7%
医学研究科	(修士)	7	2	1	4	3	75.0%
	(博士)	41	0	36	5	5	100%
医科栄養学研究科	(博士前期)	33	3	0	30	29	96.7%
	(博士後期)	8	0	2	6	6	100%
保健科学研究科	(博士前期)	26	2	3	21	21	100%
	(博士後期)	2	0	2	0	0	—
口腔科学研究科	(博士前期)	3	0	1	2	2	100%
	(博士後期)	1	0	1	0	0	—
	(博士)	9	0	5	4	4	100%
薬学研究科	(博士前期)	33	3	15	15	15	100%
	(博士後期)	10	0	7	3	3	100%
	(博士)	1	0	0	1	1	100%
総合科学教育部(学生募集停止)	(博士後期)	1	0	1	0	0	—
先端技術科学教育部(学生募集停止)	(博士後期)	19	0	8	11	8	72.7%

## 各種国家試験等の合格者数

	国家公務員			地方公務員	教員免許 (取得者)			医師国家試験	歯科医師国家試験	管理栄養士国家試験	看護師国家試験	診療放射線技師国家試験	臨床検査技師国家試験	保健師国家試験	薬剤師国家試験	歯科衛生士国家試験	社会福祉士国家試験	助産師免許国家試験	
	総合職	一般職	その他		中学校	高等学校	養護教諭												
総合科学部		9	6	28	11	15													
医学部				11			22	115 (100)		49 (98.0)	74 (100)	32 (88.9)	14 (100)	27 (100)				4 (100)	
歯学部				2					25 (71.4)							14 (93.3)	13 (100)		
薬学部	1		1	11											38 (97.4)				
理工学部	1	2	4	27	20	32													
生物資源産業学部			1	8															

※( ) 書きは%を示す。・国家公務員、地方公務員、教員免許は、大学院生を含む。・地方公務員は、就職者数(正規新卒者)を示す。  
・公務員は、国公立病院(医療職)、保健師、公立学校教員を除く。・現役のみ。

## 財政

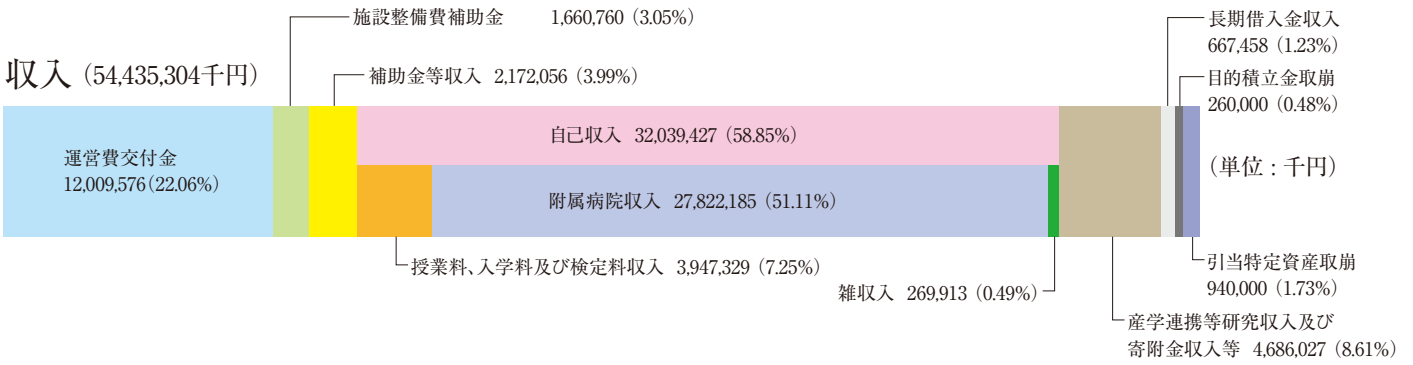
## 収入・支出決算額(2022年度)

収入		支出	
区分	決算額	区分	決算額
運営費交付金	12,029	業務費	40,244
施設整備費補助金	459	教育研究経費	15,195
設備整備費補助金	97	診療経費	25,049
補助金等収入	4,075	施設整備費	1,029
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	32	補助金等	2,948
自己収入	31,580	産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,962
授業料、入学金及び検定料収入	4,005	長期借入金償還金	1,740
附属病院収入	27,192	計	49,922
雑収入	383		
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,232		
引当金取崩	169		
長期借入金収入	538		
目的積立金取崩	271		
計	53,481		

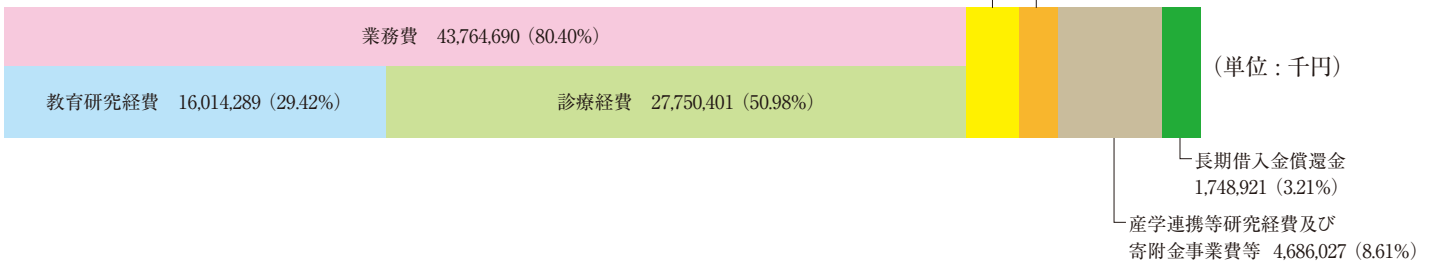
※表示単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合があります。



## 年度計画予算 (2023年度)

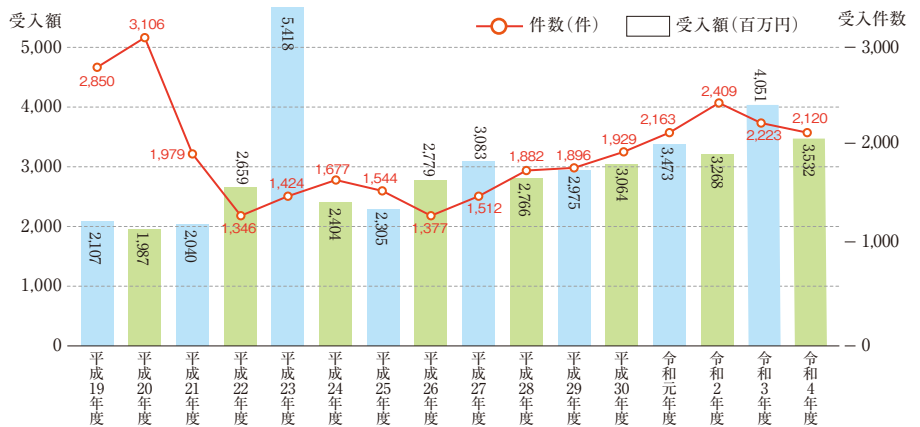


## 支出 (54,435,304千円)

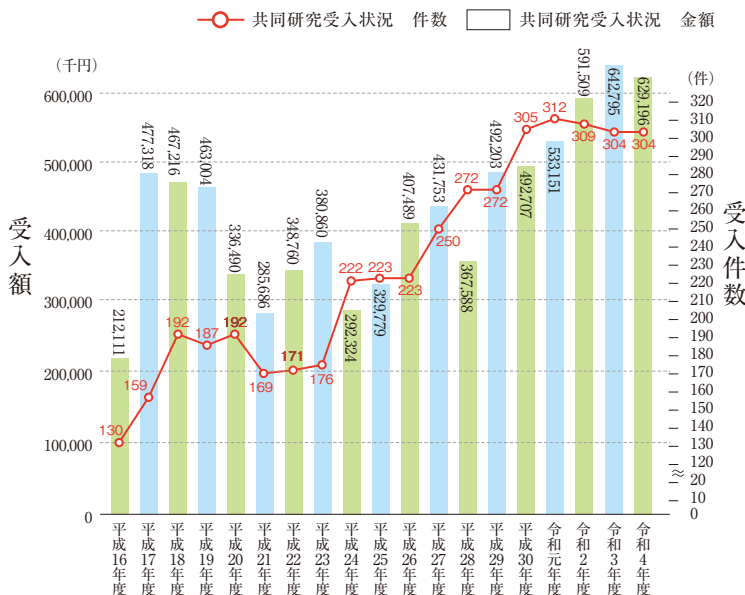


## 外部資金受入状況 (2022年度)

区分	受入件数	受入額 (千円)
共同研究	304	629,196
受託研究	193	1,275,185
寄附金	1,623	1,627,213
合計	2,120	3,531,594

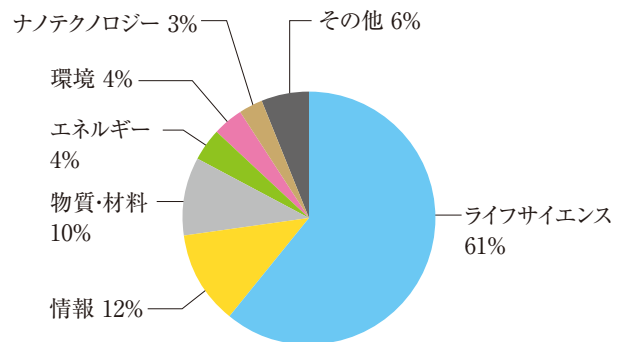


## 共同研究受入状況

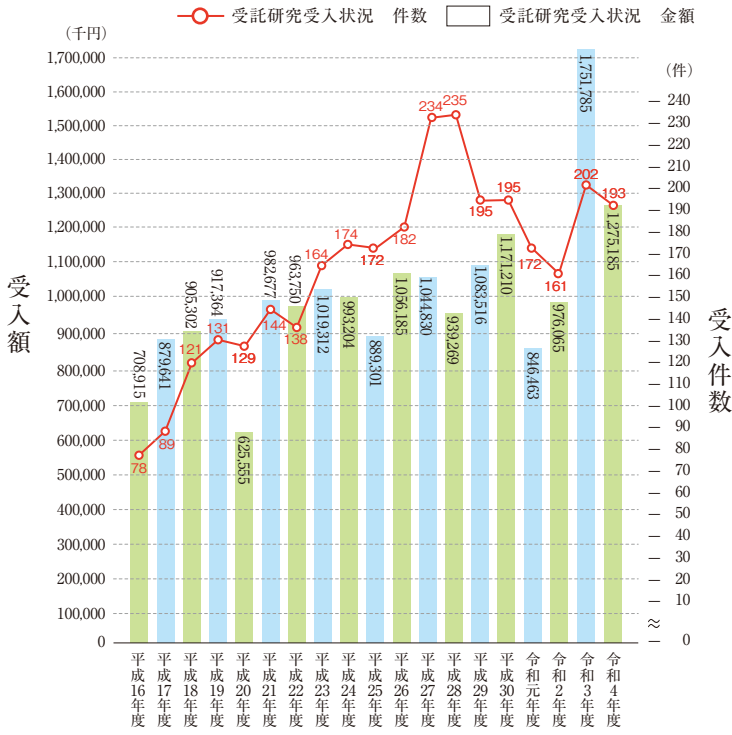


※ 1. 計上方法は、文部科学省産学連携等実施状況調査による。  
2. 共同研究講座を含む。

## 共同研究分野別内訳 (2022年度)

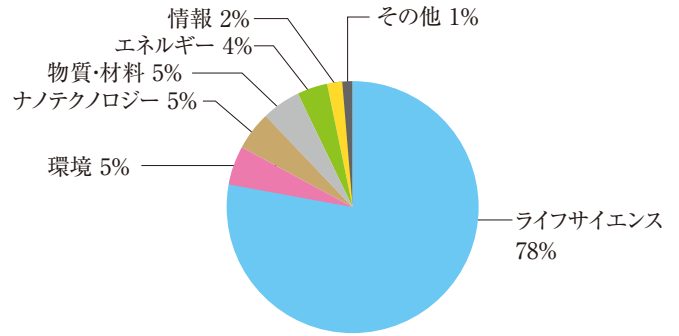


## 受託研究受入状況



※ 計上方法は、文部科学省産学連携等実施状況調査による。

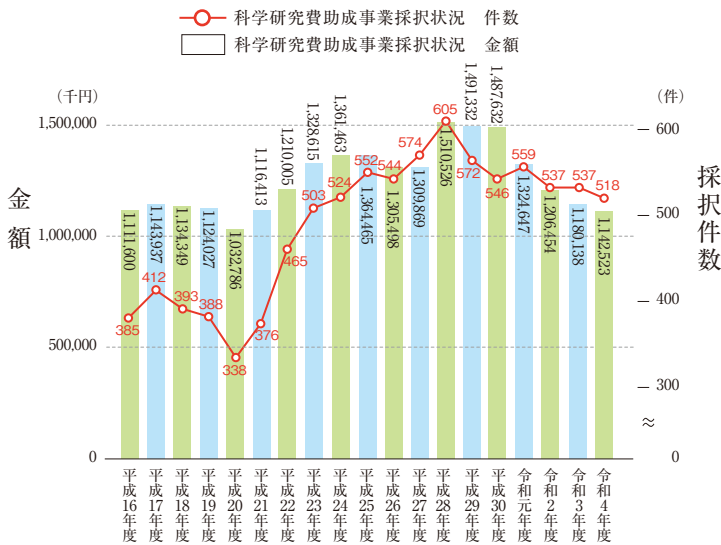
## 受託研究分野別内訳 (2022年度)



## 科学研究費助成事業採択状況 (2022年度)

研究種目	採択件数	金額 (千円)	
		直接経費	間接経費
新学術領域研究 (研究領域提案型)	6	46,800	14,040
学術変革領域研究 (A)	4	18,200	5,460
学術変革領域研究 (B)	2	16,000	4,800
基盤研究 (S)	0	0	0
基盤研究 (A)	8	61,700	18,510
基盤研究 (B)	63	253,849	76,067
基盤研究 (C)	271	266,357	80,120
挑戦的研究 (開拓)	1	16,400	4,920
挑戦的研究 (萌芽)	28	52,936	15,990
若手研究	93	106,098	31,346
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (A))	1	9,400	2,820
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	2	6,500	1,950
研究活動スタート支援	11	10,575	3,060
特別研究員奨励費	14	10,919	576
奨励研究	12	5,530	0
ひらめき☆ときめきサイエンス	1	500	0
研究成果公開促進費 (学術図書)	1	1,100	0
合計	518	882,864	259,659

## 科学研究費助成事業採択状況



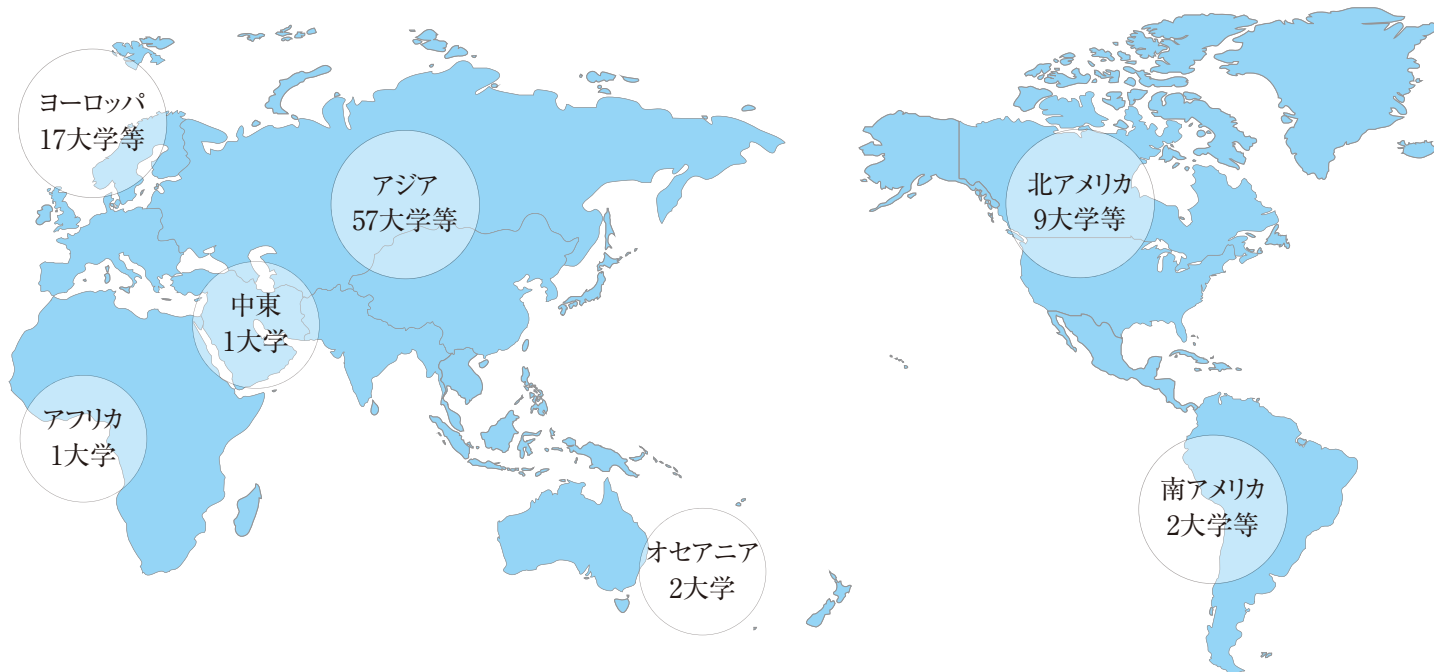
## 徳島大学発ベンチャー 2023年6月1日現在

企業名	認定年月日	企業名	認定年月日	企業名	認定年月日
ナイトライド・セミコンダクター株式会社	2016年12月20日	メカノジェニック株式会社	2017年 5月16日	株式会社シトリアン	2020年 7月21日
株式会社MMラボ	2016年12月20日	SHED Tech株式会社	2017年10月 2日	株式会社SpLED	2021年 1月25日
株式会社イフリ	2016年12月20日	株式会社Smart Laser & Plasma Systems	2018年 2月26日	株式会社MILAI Technologies	2021年 4月20日
小胞体ストレス研究所株式会社	2017年 1月26日	株式会社リパーセイジ・ユーラボ	2018年10月16日	株式会社Academistry	2021年 8月18日
株式会社医用科学研究所	2017年 2月21日	合同会社UNIYOGA	2019年 3月22日	株式会社GoFer	2021年11月16日
応用酵素医学研究所株式会社	2017年 2月21日	株式会社グリラス	2019年 9月17日	株式会社OSATO	2022年 3月15日
株式会社徳島分子病理研究所	2017年 2月21日	有限責任事業組合	2020年 2月18日	モルミル株式会社	2022年 8月10日
株式会社言語理解研究所	2017年 2月21日	徳島藻類研究所		株式会社クロスメディソン	2023年 3月22日
徳島メディカルゴーイング株式会社	2017年 2月21日	株式会社産学連携キャピタル	2020年 3月17日	株式会社Egret・Lab	2023年 3月22日
合同会社SPM研究所	2017年 2月21日	DataOASIS株式会社	2020年 6月16日	株式会社サウスウッド	2023年 3月31日
株式会社大学シーズ研究所	2017年 2月21日	Nano T-Sailing合同会社	2020年 7月 1日	株式会社C'est bon Jambon	2023年 5月16日
株式会社セツロテック	2017年 2月22日				

2023年5月1日現在

総数=32カ国・地域

89大学等



## 学術交流協定一覧

2023年5月1日現在

### 大学間協定

国・地域	大学等名	国・地域	大学等名
インド	サビトリバイ プレー ブネ大学	モンゴル	モンゴル国立医科大学
インドネシア	ガジャマダ大学 ムハマディア大学ジョグジャカルタ校	イスラエル	テクニオンイスラエル工科大学
韓国	慶北大学 韓国海洋大学 ソウル国立大学 東国大学	オーストラリア	モナシュ大学
タイ王国	キングモンクット工科大学トンブリ校	ニュージーランド	オークランド大学
台湾	国立台湾科技大学	アメリカ合衆国	フロリダアトランティック大学 テキサス大学ヒューストンヘルスサイエンスセンター 南伊利ノイ大学
中国	武漢大学 吉林大学 西安交通大学 南通大学 南京大学 大連理工大学	カナダ	トリニティウエスタン大学
ベトナム	ベトナム国立栄養院 ベトナム国立農業大学 ダナン大学	ブラジル	パラナ連邦工科大学
マレーシア	マレーシアサイエンス大学 マレーシア工科大学 マレーシア国民大学 マラヤ大学 マレーシアマラッカ技術大学	イタリア	ミラノ大学
		スイス	バーゼル大学
		ドイツ	ハノーバー医科大学
		フランス	ボルドー大学
		ブルガリア	ヴェリコ・タルノヴォ大学
		ポルトガル	レイリア工科大学
		エチオピア	ゴンダール大学

## 部局間協定

区分	国・地域	大学等名
総合科学部	台湾	国立嘉義大学人文芸術学院
		育達科技大学人文社会学院
		開南大学人文社会学院
	中国	寧波大学外国語学院
	アメリカ合衆国	スリバリーロック大学
	カナダ	ビショップス大学
	クロアチア	ザグレブ大学人文社会科学部
	スウェーデン	ルンド大学人文神学部
	スロベニア	リュブリャナ大学文学部
	ベルギー	ゲント大学文学哲学部
	ラトビア	ラトビア大学人文学部
医学部	ネパール	トリブバン大学医学部
	フィンランド	メトロポリア応用科学大学保健学部
医学部、大学院医科栄養学研究科	韓国	延世大学スペース・バイオサイエンス研究部
医学部、大学院保健科学研究科	タイ王国	プリンスオブソククラ大学看護学部
	フィリピン	セントポール大学フィリピン シリマン大学看護学部
歯学部	インド	スリハサナンバ歯科大学
		マニパール歯科大学マンガロール校
		SRM歯科大学
	インドネシア	ハントゥアー大学歯学部
		スルタンアグニスラミック大学歯学部
		ハサスディン大学歯学部
		ウダヤナ大学 マハサラスワティ・デンパサル大学歯学部
	韓国	朝鮮大学歯学部
	中国	中国医科大学口腔医学院
		上海交通大学医学院附属第九人民医院
	チリ	フィニス テラーエ大学歯学部
フィンランド	メトロポリア応用科学大学リハビリテーション・医療検査学部	
薬学部	インド	ジャダプール大学学際的研究・法学・経営学部
		インド国政府科学技術省生物資源持続型開発研究所 (ISBD)
	インドネシア	スマトラ・ウタラ大学薬学部
	中国	大理大学薬学化学院
		天津医科大学薬学院
アメリカ合衆国	ノースカロライナ大学チャペルヒル校エシエルマン薬学部	
薬学部、大学院薬学研究科	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学薬学部
	中国	中国科学院広西植物研究所
ドイツ	レーゲンスブルク大学化学薬学部	
大学院社会産業理工学研究部理工学域	アメリカ合衆国	コロラド大学ボルダー校
大学院創成科学研究科	ドイツ	ラインマイン応用科学大学工学部
	インド	ノースマハラシュトラ大学化学部、生命科学部、物理科学部、 数理科学部、計算機科学部及び科学技術院
理工学部	インド	ドクターババサハブアンベドカルマラツワダ大学理学部
	韓国	東義大学大学院
	台湾	南台科技大学工学部
	モンゴル	モンゴル科学技術大学情報通信技術学部
	チェコ	ブルノ工科大学中央ヨーロッパ技術研究所 (CEITEC)
	フランス	トゥールーズ工科大学
高等教育研究センター	台湾	淡江大学推広教育室
埋蔵文化財調査室	韓国	東亜大学考古美術史学科

## 外国人留学生数

区分/ 国・地域	学部学生		大学院生			研究生等			合計			
	計	うち 女子	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子	うち 国費	計	うち 女子		
<b>アジア</b>												
インド			9	5	2				9	5	2	
インドネシア	1	1	9	5	6				10	6	6	
韓国	20	6							20	6		
台湾			10	2		2	1		12	3		
中国			59	20		14	5		73	25		
バングラデシュ			8		5				8		5	
フィリピン			4	1	1				4	1	1	
ベトナム	2	1	8	4	4				10	5	4	
マレーシア	3	1	1	4	1	1			7	2	2	
モンゴル			16	9	3				16	9	3	
<b>北アメリカ</b>												
アメリカ合衆国			1						1			
カナダ						1	1		1	1		
<b>オセアニア</b>												
オーストラリア	1	1							1		1	
<b>アフリカ</b>												
エジプト			1						1			
エチオピア			1		1				1		1	
合計15ヶ国・地域	27	9	2	130	47	23	17	7	0	174	63	25

## 外国人研究者数

区分/ 国・地域	教員(専任)	教員(特任)	学術研究員等	研究者(招聘等)	計
<b>アジア</b>					
インド	1				1
インドネシア				1	1
韓国	1		1		2
台湾				1	1
中国	8	1	2		11
ネパール	2				2
バングラデシュ				3	3
フィリピン	1				1
ベトナム			1	1	2
マレーシア			1		1
タイ			1	1	2
モンゴル			1		1
<b>北アメリカ</b>					
アメリカ合衆国	1				1
メキシコ	1				1
<b>南アメリカ</b>					
ブラジル	1				1
<b>ヨーロッパ</b>					
オーストリア	1				1
ドイツ	1				1
計	18	1	7	7	33



部局	職名	役員等	教育職員					計	事務系	技術系	医療系
			教授	准教授	講師	助教	特任教員等				
学長		1									
理事		(1)5									
監事		(1)1									
副学長		(2)1									
事務局									223		
常三島事務局									31		
蔵本事務局									38		
大学院社会産業理工学研究部			99	97	35	13	2	246		2	
大学院医歯薬学研究部			95	58	41	122	48	364		8	
教養教育院			5	7				12			
先端酵素学研究所			9	7	2	6	4	28		4	
ポストLED フォトニクス研究所			8	9	2	1	9	29		1	
人と地域共創センター			1	3	1		4	9		1	
情報センター			2	1	1	1		5			
放射線総合センター			1			1		2			
高等教育研究センター			4	4	2	3	3	16		3	
環境防災研究センター			2	1	1	1		5			
研究支援・産官学連携センター			2	2			10	14			
AWAサポートセンター							1	1		1	
教職教育センター			1	1				2			
先端研究推進センター			2	1				3			
デザイン型 AI 教育研究センター						1	1	2		1	
バイオイノベーション研究所			3	2	2			7		1	
四国産官学連携イノベーション共同推進機構				1				1			
病院			3	6	40	58	76	183		1,024	
技術支援部									72		
インスティテューショナル・リサーチ室			1	1				2			
キャンパスライフ健康支援センター			3		1	2		6		4	
計		(4)8	241	201	128	209	158	937		1,414	
合計					(4)	2,359					

※ ( ) は、理事（非常勤）、監事（非常勤）及び副学長（非常勤）

### 学生寮

名称	居室数	構造
晨鐘寮(男子)	21	鉄筋3階建 1,662㎡
藍香寮(女子)	16	
徳島市城南町一丁目12番地の14		
友朋寮(女子)	34	鉄筋3階建 1,031㎡
徳島市中常三島町二丁目19番地の5		

### 体育施設

区分	設備概要
<b>常三島地区</b>	
総合運動場	●陸上競技場 ●テニスコート7面 ●クラブハウス ●トレーニングルーム
総合科学部運動場	●運動場 ●テニスコート2面
弓道場	●6人立
体育館	●第1体育場 ●第2体育場 ●柔道場 ●剣道場 ●音楽ホール ●和室 ●多目的室
<b>蔵本地区</b>	
医学部運動場	●運動場 ●テニスコート5面
弓道場	●5人立
体育館	●体育館 ●柔道場 ●剣道場 ●トレーニングルーム
<b>その他の地区</b>	
ヨット艇庫	●艇庫1棟 ●470級4艇 ●スナイプ級4艇 ●救助艇1艇
ボート艇庫	●艇庫1棟 ●ナックルフォアー1艇 ●シングルスカール2艇 ●シェルフォアー1艇 ●ダブルスカール2艇

### 国際交流会館

区分	部屋数等
居室	单身室 32室
	夫婦室 15室
	家族室 3室
共用施設	多目的ホール 1室
	テニスコート 1面

### 日亜会館留学生宿舎

区分	部屋数等
居室	单身室 30室

### 蔵本宿舎

区分	部屋数等
居室	单身室 38室
	2人部屋 2室

### キャンパスライフ健康支援センター

職員数	主な施設	業務内容
センター長(教授) 1	●診察室	●健康診断 ●救急処置
教授 2	●相談室	●安全衛生 ●心身の健康相談
講師 1	●検査室	●学生相談 ●職員相談
助教 2	●ヘルスチェックルーム	●人権相談
保健師 2	●休養室	●保健管理の調査研究等
看護師 1	●事務室	●感染症のワクチン接種
臨床検査技師 1		●障がいのある学生の修学支援

# 所在地一覧

新蔵地区	事務局	(088)656-7000(代表)	〒770-8501 徳島市新蔵町二丁目24番地
	インステイトゥーションナル・リサーチ室	(088)656-7693	
	テクノオン連携室	(088)615-3453	
常三島地区	総合科学部	(088)656-7103	〒770-8502 徳島市南常三島町一丁目1番地
	大学院創成科学研究科(地域創成専攻、臨床心理学専攻)	(088)656-7108	
	大学院総合科学教育部	(088)656-7108	
	教養教育院	(088)656-7308	
	人と地域共創センター	(088)656-7276	
	高等教育研究センター	(088)656-7080	
	教職教育センター	(088)656-7095	
	デザイン型AI教育研究センター	(088)656-7095	
	キャンパスライフ健康支援センター	(088)656-7289	
	理工学部	(088)656-7304	〒770-8506 徳島市南常三島町二丁目1番地
	大学院創成科学研究科(理工学専攻)	(088)656-7315	
	大学院先端技術科学教育部	(088)656-7315	
	大学院社会産業理工学研究部	(088)656-7304	
	生物資源産業学部	(088)656-8019	
	大学院創成科学研究科(生物資源学専攻)	(088)656-8021	
	ポストLEDフォトニクス研究所	(088)656-9701	
	情報センター	(088)656-8131	
	環境防災研究センター	(088)656-8965	
	研究支援・産官学連携センター	(088)656-7592	
	大学産業院	(088)615-2355	
	埋蔵文化財調査室	(088)656-9405	
	四国産官連携イノベーション共同推進機構	(088)656-9702	
	附属図書館(本館)	(088)656-7584	〒770-8507 徳島市南常三島町二丁目1番地
大学院創成科学研究科(創成科学専攻)	(088)656-7108、(088)656-7315、 (088)656-8021	〒770-8506 徳島市南常三島町一丁目1番地 〒770-8507 徳島市南常三島町二丁目1番地	
蔵本地区	医学部	(088)633-9116(代表)	〒770-8503 徳島市蔵本町三丁目18番地の15
	大学院医学研究科	(088)633-9649	
	大学院医科栄養学研究科	(088)633-9649	
	大学院保健科学研究科	(088)633-9009	
	大学院医歯薬学研究部	(088)633-9116(代表)	
	先端酵素学研究所	(088)633-9420	
	放射線総合センター	(088)633-9420	
	先端研究推進センター	(088)633-9420	
	AWAサポートセンター	(088)633-7538	
	歯学部	(088)633-9100(代表)	〒770-8504 徳島市蔵本町三丁目18番地の15
	大学院口腔科学研究科	(088)633-7310	
	附属図書館(蔵本分館)	(088)633-7414	〒770-8508 徳島市蔵本町三丁目18番地の15
	病院	(088)631-3111(代表)	〒770-8503 徳島市蔵本町二丁目50番地の1
	薬学部	(088)633-7245	〒770-8505 徳島市庄町一丁目78番地の1
	大学院薬学研究科	(088)633-7245	
附属医薬創製教育研究センター	(088)633-7245		
石井地区	生物資源産業学部農場	(088)635-0796	〒779-3233 名西郡石井町石井字石井2272番地の2
	バイオイノベーション研究所	(088)635-1861	
その他の地区	総合運動場		〒770-0812 徳島市北常三島町三丁目41 ㉑
	友朋寮	(088)625-3154	〒770-0813 徳島市中常三島町二丁目19番地の5 ㉒
	晨鐘寮・藍香寮	(088)652-2184	〒770-8064 徳島市城南町一丁目12番地の14 ㉓
	薬学部薬用植物園	(088)642-1444	〒779-3117 徳島市国府町日開536番地の3 ㉔
	国際交流会館、ボート艇庫	(088)698-1244	〒771-0206 板野郡北島町高房字八丁野東9番地の1 ㉕
	生物資源産業学部水圏教育研究センター	(088)683-7027	〒771-0361 鳴門市瀬戸町堂浦地廻り宅96番地の14 ㉖
	ヨット艇庫		〒771-0371 鳴門市北灘戸楠木字東山1番地 ㉗
	とくしまイノベーションセンター	(088)449-1102	〒779-1510 阿南市新野町室ノ久保12番地 ㉘

(30-31ページの地図参照)

区分	土地 (㎡)	建物 (延) (㎡)	備考
<b>新蔵地区</b>	8,415	7,702	日理会館を含む。
事務局		7,702	
<b>常三島地区</b>	116,958	112,067	
総合科学部		20,199	
理工学部		53,882	
ポストLEDフォトニクス 研究所		5,708	
情報センター		3,462	
研究支援・産官学連携 センター		4,380	地域共同インキュベーション研究室、 ベンチャービジネス育成研究室を含む。
附属図書館		5,112	
全学共通教育施設		8,474	人と地域共創センター、キャンパス ライフ健康支援センターを含む。
地域創生・国際交流 会館		3,446	
その他		7,404	学生会館・体育館・常三島食堂・ カフェ棟・音楽練習棟・カフェテリア

土地	計371,105㎡
建物 (延)	計344,159㎡

区分	土地 (㎡)	建物 (延) (㎡)	備考
<b>蔵本地区</b>	161,644	203,500	
医学部		52,521	
歯学部		22,401	医歯薬学共創プラザを含む。
薬学部		12,124	医薬創製教育研究センターを含む。
病院		88,414	トリアージ棟を含む。
附属図書館蔵本分館		3,318	情報センター分室、AWAサポート センターを含む。
先端酵素学研究所		14,690	先端酵素学研究所A棟、 先端酵素学研究所B棟、 藤井節郎記念医科学センターを含む。
放射線総合センター		1,265	
先端研究推進センター		4,199	
その他		4,568	蔵本会館、蔵本地区体育館
<b>その他の地区</b>	84,088	20,890	
総合運動場	41,274	1,266	
薬学部薬用植物園	9,654	182	
国際交流会館	8,229	1,830	
宿舎	17,605	13,559	常三島住宅、中洲住宅、新浜住宅、 大坪住宅
その他	7,326	4,053	友朋寮、晨鐘寮・藍香寮、 ボート艇庫、生物資源産業学部農場 創薬・医療機器開発施設、 生物資源産業学部水圏教育研究 センター、ヨット艇庫、生物資源産業学 部先端畜産システム開発施設

## 位置図・交通

### 交通

#### 飛行機

- 東京 (羽田) ~ 徳島  
[約1時間10分]
- 福岡 ~ 徳島  
[約1時間30分]

#### 鉄道

- 岡山 ~ 徳島 (特急)  
[約2時間10分]
- 香川 ~ 徳島 (特急)  
[約1時間10分]

#### 高速バス

- 徳島駅又は徳島大学前下車
- 京都 ~ 徳島  
[約2時間45分]
  - 大阪 ~ 徳島 [約2時間30分]
  - 関西空港 ~ 徳島  
[約2時間45分]
  - 神戸 (三ノ宮) ~ 徳島  
[約1時間40分]
  - 広島 ~ 徳島 [約4時間]
  - 岡山 ~ 徳島 [約2時間35分]

#### フェリー

- 東京 ~ 徳島 [約18時間]
- 和歌山 ~ 徳島 [約2時間]



地図中の㉑~㉒は、「その他の地区」の各施設の位置を示す。

### JR徳島駅からの距離 交通手段・所要時間

#### 新蔵地区 (約1km)

- 徒歩の場合 [15分]
- バス利用の場合 [6分]  
徳島駅より徳島バス「富岡・橘」行、徳島市営バス「津田」行または、小松島市営バス各方面行に乗り、「新蔵町」下車徒歩1分
- ※ 徳島市営バス「津田」行のうち「イオン経由」は「新蔵町」には停車しない。
- タクシーの場合 [約5分]

#### 常三島地区 (約2km)

- 徒歩の場合 [30分]
- バス利用の場合 [10分]  
徳島駅より徳島市営バス「島田石橋」行、「商業高校」行に乗り、「助任橋・徳島大学前」または「徳島大学南」下車徒歩5分
- タクシーの場合 [約7分]



# 建物配置図

2023年8月1日現在

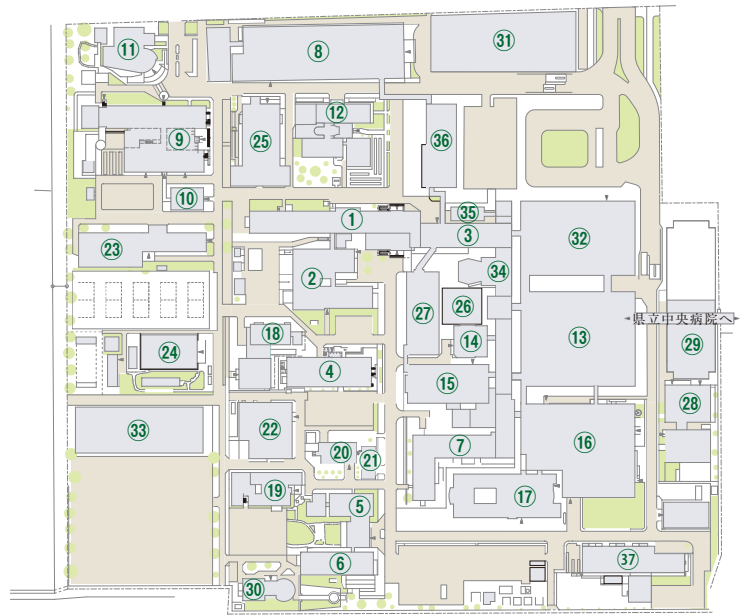


## 蔵本地区

- ① 医学基礎A棟
- ② 医学基礎B棟
- ③ 医学臨床A棟
- ④ 栄養学棟
- ⑤ 保健学A棟
- ⑥ 保健学B棟
- ⑦ 保健学C棟
- ⑧ 歯学部校舎・  
歯薬学共創プラザ
- ⑨ 薬学部実験研究棟
- ⑩ 医薬創製教育研究  
センター
- ⑪ 長井記念ホール
- ⑫ 附属図書館(蔵本分館)
- ⑬ 中央診療棟
- ⑭ 臨床講義棟
- ⑮ 医学臨床B棟
- ⑯ 東病棟
- ⑰ 西病棟
- ⑱ 放射線総合センター
- ⑲ 先端酵素学研究所B棟
- ⑳ 先端酵素学研究所A棟
- ㉑ 先端酵素学研究所A棟  
実験棟
- ㉒ 先端研究推進センター  
動物実験施設
- ㉓ 蔵本会館
- ㉔ 体育館
- ㉕ 大塚講堂
- ㉖ 総合研究棟
- ㉗ 藤井節郎記念  
医科学センター
- ㉘ 維持管理センター
- ㉙ 立体駐車場
- ㉚ 青藍会館
- ㉛ 立体駐車場
- ㉜ 外来診療棟
- ㉝ 立体駐車場
- ㉞ 西外来診療棟
- ㉟ 災害・感染症トリアージ棟
- ㊱ 歯薬学共同利用棟
- ㊲ 宿舎棟

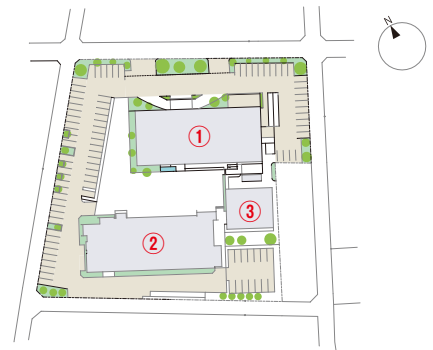
## 常三島地区

- ① 総合科学部1号館
- ② 総合科学部2号館(西棟)
- ③ 地域連携プラザ
- ④ 総合科学部2号館(東棟)
- ⑤ 総合科学部3号館
- ⑥ 教養教育4号館
- ⑦ 教養教育5号館・  
キャンパスライフ  
健康支援センター
- ⑧ 教養教育6号館・  
人と地域共創センター
- ⑨ 学生会館
- ⑩ 地域創生・国際交流会館・  
人と地域共創センター
- ⑪ 第1食堂
- ⑫ 体育館
- ⑬ 音楽練習棟
- ⑭ 附属図書館(本館)
- ⑮ 建設棟・環境防災  
研究センター
- ⑯ 建設系実験室
- ⑰ 電気電子棟
- ⑱ イノベーションプラザ
- ⑲ 機械棟
- ㉑ 化学・生物棟
- ㉒ 総合研究実験棟
- ㉓ 光応用棟
- ㉔ 情報センター院生棟
- ㉕ 知能情報・南棟
- ㉖ 知能情報・北棟
- ㉗ 機械実習棟
- ㉘ 工業会館
- ㉙ カフェテリア
- ㉚ 第2食堂
- ㉛ ポストLEDフォトニクス研究所
- ㉜ 地域共同インキュベーション  
研究室棟(産学官連携プラザ)・  
研究支援・産官学連携センター・  
大学産業院
- ㉝ ベンチャービジネス育成研究室棟  
(産学官連携プラザ)
- ㉞ カフェ棟
- ㉟ 課外活動棟



## 新蔵地区

- ① 徳島大学本部
- ② 日曜会館
- ③ しんぐら会館



## 石井地区

- ① ヴォルテックス棟
- ② 教育研究棟 1
- ③ 教育研究棟 2
- ④ 教育研究棟 3
- ⑤ 教育研究棟 4
- ⑥ 先端畜産システム  
開発施設
- ⑦ 創業・医療機器  
開発施設
- ⑧ 施設野菜温室



## その他の 地区

- ㉑ 総合運動場
- ㉒ 友朋寮
- ㉓ 長鐘寮・藍香寮
- ㉔ 薬学部薬用植物園
- ㉕ 国際交流会館、ポート艇庫
- ㉖ 生物資源産学学部水圏教育研究センター
- ㉗ ヨット艇庫
- ㉘ とくしまイノベーションセンター



### 蔵本地区(約4km)

- JR利用の場合 [12分]  
(JR徳島線蔵本駅下車徒歩5分)
- バス利用の場合 [15分]  
徳島駅より徳島市営バス「上鮎喰」行、「天の原西(延命)」行、「中央循環線(右回り)」行、「地藏院」行、「名東」行のいずれかに乗車し、「県立中央病院・徳島大学病院前」、「総合メディカルゾーン」のいずれか下車徒歩1分
- タクシーの場合 [約10分]

地図中の㉑～㉗は、「その他の地区」の各施設の位置を示す。

## 徳島大学基金

徳島大学では、教育・研究・社会貢献など本学のさらなる発展を図り、世界と地域の課題解決に重要な役割を果たせる人材の輩出に資することを目的に「徳島大学基金」を創設しています。

ご支援いただいたご篤志は事業区分ごとに基金として積み立て、幅広く活用させていただきます。

徳島大学基金ホームページ



### 学生団体支援チャリティーイベント

#### TOKUSHIMA UNIVERSITY GIVING CAMPAIGN 2022

大学や大学生の支援を目的とした大規模なオンラインチャリティーイベントで、徳島大学の学生団体の取り組みを全国に向けて発信し、卒業生や各企業を中心とした大学支援者による支援金が分配される仕組みです。1週間のイベント期間で4,035人の方々に参加いただき、個人や法人からいただいた寄附金を、活動資金として分配し、学生活動の活性化、強化に寄与する取り組みとなりました。



### 徳島大学「食の支援」学生支援クーポン

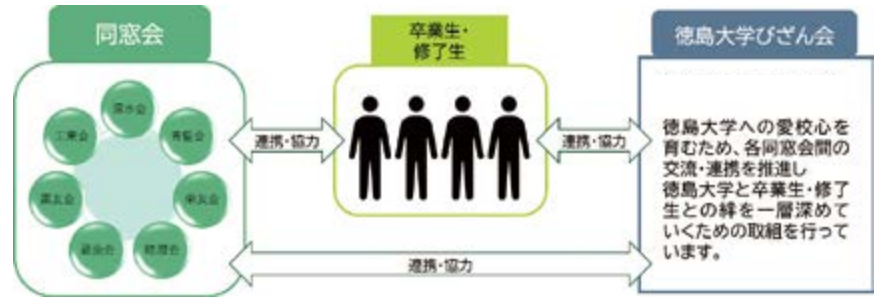
コロナ禍や物価高の影響により、生活に困窮する学生に向けて皆さまから託していただいたご支援と、独立行政法人日本学生支援機構「新型コロナウイルス感染症対策助成事業」の助成を原資として、徳島大学生協と連携し、「食事」等に利用できるクーポン4,000円分の配付を実施しました。

クーポンを受け取った学生からは、「アルバイトのシフトが減り食費を切り詰めていたが、きちんとしたものが食べられる」など、喜びの声を聞くことができました。

## 徳島大学びざん会

現在、徳島大学には学部ごとに7つの同窓会がありますが、各学部同窓会の枠組みを越えて徳島大学の全学を挙げた交流及び連携のための組織として、「徳島大学びざん会」を設置しています。

オンライン上で大学の取組や研究活動、学生活動を紹介するイベント「オンラインびざん会」の開催や、大学を離れた後、それぞれ全国各地に在住する同窓生のために「徳島びざん会」「近畿びざん会」「関東びざん会」を開催するなど、卒業・修了後も同窓生との交流を行っています。



オンラインびざん会の様子

徳島大学びざん会



徳島大学オンライン  
びざん会 (YouTube)



## 徳島大学マスコットキャラクター「とくぼん」



徳島大学マスコット  
キャラクター  
「とくぼん」



### プロフィール

【名前】 とくぼん

【誕生日】 11月2日

【性格】

明るく、親しみやすい。

チャレンジ精神が旺盛だが、失敗することもあります。

【生い立ち】

徳島大学で生まれ、住み着いているタヌキです。

徳島大学が大好きで、学生と一緒に勉学に励む毎日を送っています。

【ひと言】

「徳島大学とともに人類の問題を解決することをミッションとし、これからの未来に向かって力強く歩んでいきます！」

# 徳島大学の歌

「徳島大学の歌」は、1955年1月に選定されました。

選定にあたっては、学内に「大学の歌選考委員会」が設けられ、本学の学生、職員から作品の懸賞募集が行われました。

応募作品8点のうち3点を選び、各学部に表示し、学生投票によって入選作が決定されました。工学部土木科2年日野裕善氏の作詞が入選し、作曲は東京芸術大学教授松本民之助氏に委嘱されました。



YouTube  
「徳島大学/TokushimaUniv」  
チャンネル内「大学の歌」

## 徳島大学の歌

♩=ca.96 おおらかに、しかもいきいきと 日野 裕善：作詞  
松本民之助：作曲

*mf*

びざんに かおる あおあらし うつして  
みねおご そかに あおあみ つるぎ  
なるとに くらう ずなせる はてなき

*mf*

きよきよし のが わ な が れに - やどす  
すがし おたか しえに て そま なびの - みちの  
うし おたか しえに て そま なびの - うみの

*mp*

えいこうの ほまれは - たかき がくえん  
とおきこぞ りそりの - きょうと あくが  
ちひろにも しんりの - もとめ とどまら

*f*

にああせいしゅんの ゆめつどい われら  
てああせんせいの あけぼのを われら  
じあやくしんの ちかからみち われら

*f*

せいきのとを あけむ たたり あれ たたり  
たゆまのびを あげむ さかえ あれ たたり  
ふんかのひを あげむ さかえ あれ たたり

*f*

あれわ がとく し ま だ い が く  
あれわ がとく し ま だ い が く



## 学章

学章は、UNIVERSITYとTOKUSHIMAの頭文字であるUとTを基調としてデザインされています。

背面に配置された四角形は、徳島大学の位置する四国を示しています。Uの重なりは、大学の学術と教育の成果が地域や国際社会の発展に貢献し、知と文化がこだまのように継承されていく姿を象徴しています。全体の色調は、四国を発して世界に羽ばたく人材を生み出す悠久の流れを象徴する吉野川と、若人の夢を象徴する徳島の青い空、青い海、さらには徳島の誇る特産物である藍の色などをイメージしています。（2001年制定）



## コミュニケーションマーク

徳島大学が60年間で培ってきた「進取の気風」をベースに、人が躍動し、個性的で未来に立ち向かう教育研究の場をイメージしました。また、5つの色は、それぞれ下記のような意味を込めています。

- = 優れた専門性、人間性に富む人格形成の場
- = 真理を探求し、自由な発想による研究
- = 地域社会と世界を結ぶ知的ネットワークの拠点
- = 徳島県の豊かな自然、眉山や城山など、都市の中の緑
- = 吉野川をはじめ、潤いと恵みをもたらす水環境

使用した書体は、ローマ字の起源であるローマ時代、トラヤヌス帝の碑文を源にするTrajanであり、学問の歴史と大学の伝統、格調の高さを示しています。

左に位置するイラストレーションは、躍動感をイメージし、殻を破るような勢いと水のような流動性を表現しています。（2010年制定）

## 徳島大学公式SNS



【徳島大学公式ホームページ】



【徳島大学公式X(旧Twitter)】



【徳島大学公式Facebook】



【徳島大学公式Instagram】



【徳島大学公式YouTube】



徳島大学は、学校教育法第109条第2項の規定による「大学機関別認証評価」を受け、「大学評価基準を満たしている」と認定されました。（2020年3月24日）

認証評価機関：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構

認証期間：7年間

## 徳島大学概要2023

編集 / 徳島大学総務部未来創造課  
770-8501 徳島市新蔵町二丁目24番地  
Tel:088-656-7021

<https://www.tokushima-u.ac.jp/>

2023年9月発行